

JA共済の  
地域貢献活動 **2011**



全国共済農業協同組合連合会 (JA共済連)

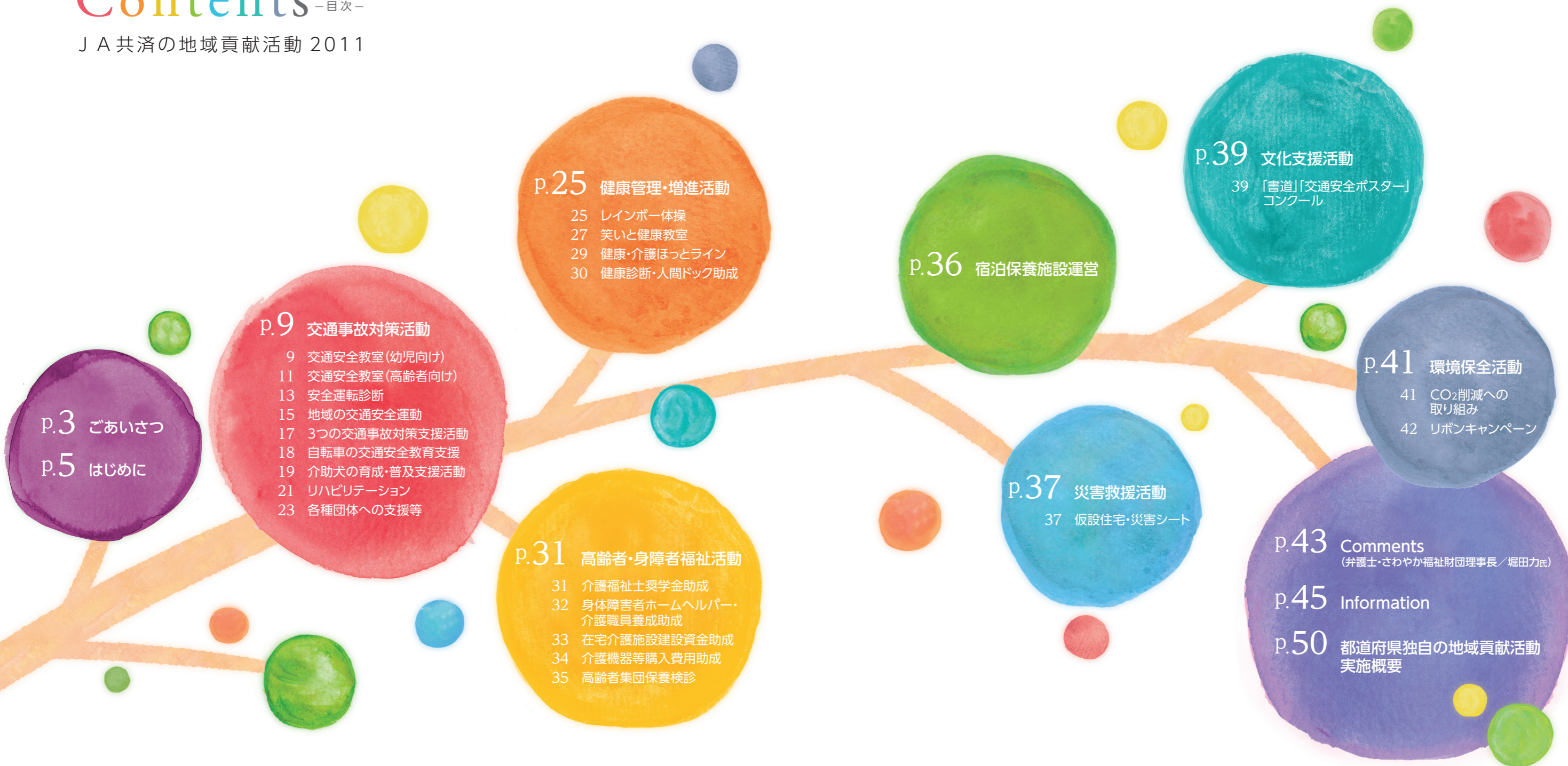
〒102-8630 東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル  
TEL.03-5215-9160 (広報部地域貢献室)

<http://social.ja-kyosai.or.jp/>



# Contents —目次—

J A 共済の地域貢献活動 2011



## JA共済は、「安心」と「信頼」で、 地域をつなぎます。

### 「JA共済 地域貢献活動のご報告2011」をお届けいたします。

日頃よりJA共済事業をお引き立ていただき、厚くお礼申し上げます。

JA共済は、農業協同組合が理念とする「相互扶助（助け合い）」を事業活動の原点とし、事業開始より60年余、しあわせの輪を広げるべく事業活動を展開してまいりました。

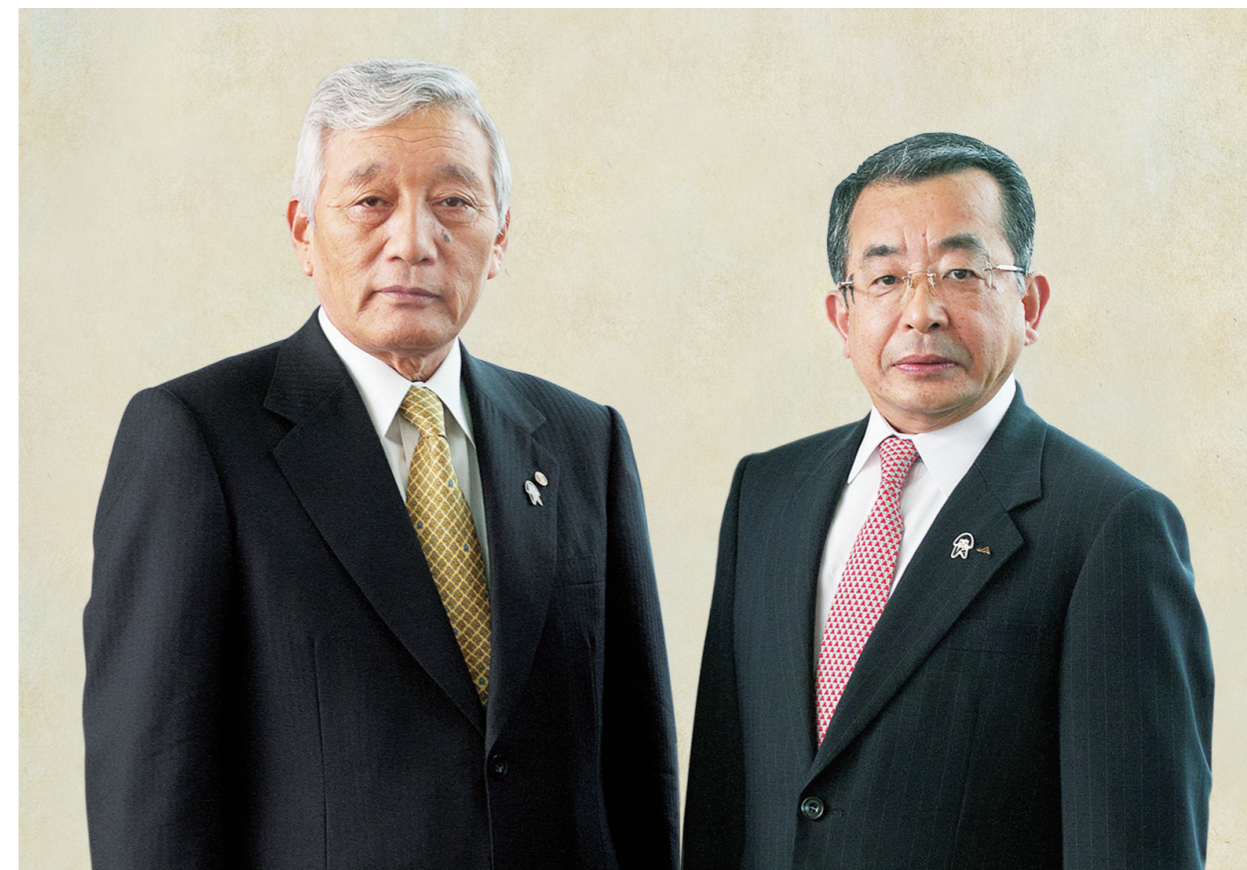
多くの方々にご利用いただくことで、平成22年度では3兆6,760億円もの満期共済金・事故共済金をお支払いし、組合員・利用者の皆さまの生活保障や、自然災害等からの復旧・復興にお役立ていただくことができました。なお、国内観測史上最大規模となった東日本大震災にかかる共済金につきましては、7月末まで5,948億円と過去最大のお支払いとなっています。

さらに、JA共済では、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりのため、交通事故対策活動、健康管理・増進活動、高齢者・身障者福祉活動、災害救援活動、文化支援活動、環境保全活動などの地域貢献活動に取り組んでまいりました。

震災発生以降、被災地の復旧・復興に向けて、日本全国、全世界に「助け合いの輪」が広がっていることなど、JAが理念としている「協同」「相互扶助」の大切さが、広く世の中に改めて認識されていると感じます。厳しい環境だからこそ、助け合い・人と人との絆を、一層大切にしなければならぬと考えます。

これからも、皆さまとの絆・地域との絆を大切にしながら、共済事業と地域貢献活動の積極的な取り組みを通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献してまいります。

本誌をご覧いただき、JA共済に対するより一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。



● 経営管理委員会会長  
安田 舜一郎

● 代表理事理事長  
横井 義則

### JA共済は、「相互扶助（助け合い）」を事業理念としています。

～人と人との「絆」を深めたい～

「一人は万人のために、万人は一人のために」  
日本の農村では、古くから共同体をつくり、お互いに支え合い、助け合って暮らしを営んできました。日常の農作業はもちろん、自然災害や火事などの災害時には、共同体全体で救済・援助を行いました。そうした歴史を背景に、農家組合員が協力して農業生産力の増進と経済的・社会的地位の向上を図ること、

そして、協同による事業活動を通じて、農家組合員の幸福と利益を実現することを目的に「農業協同組合（JA）」は生まれました。

JAの共済事業は、こうした相互扶助（助け合い）を事業理念として、自主的・民主的に運営されており、人間性の尊重や地域社会づくり、そして地域に暮らす人々の絆づくりへの貢献をめざしています。

# 地域の皆さまが、健康で安心して暮ら

JA共済は、組合員・利用者の皆さまへ

最良の「安心」と「満足」を提供することを使命とし

これまで皆さまに支えられながら

日本でも屈指の事業規模を確保するまでに成長しました。

JA共済が実施する共済事業（保障提供）と

地域貢献活動（事故の未然防止活動と事故後の相互扶助活動）は

車の両輪の関係にあり、相互に機能することにより

「ひと・いえ・くるま」の生活総合保障と事故の未然防止、

相互扶助活動による安全・安心の輪を広げてきました。

JA共済は、今後も共済事業と地域貢献活動を通じて

地域との絆を強化し、組合員・地域住民の皆さまが

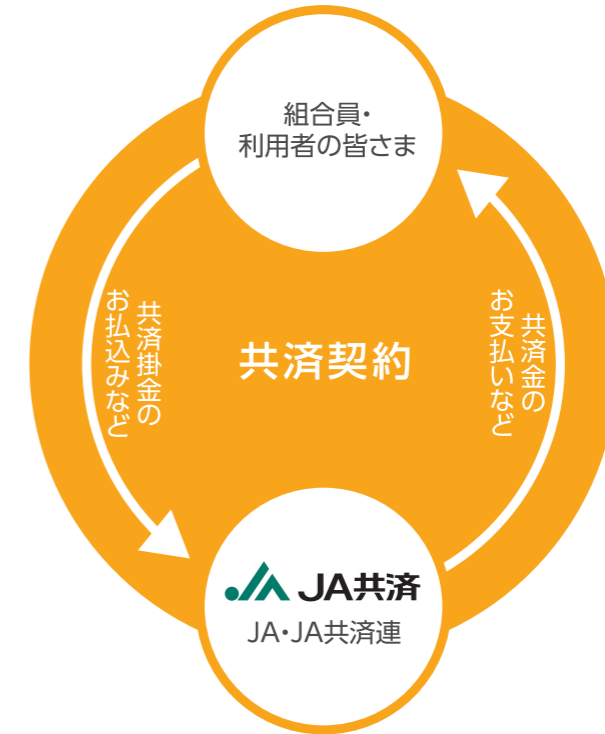
住み慣れた地域で健康で安心して暮らせる

豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。



# せる環境づくりを。

組合員・利用者の皆さまとJA共済は、「信頼関係・安心感・身近さ」でつながっています。



※共済契約は、JAとJA共済連が共同でお引き受けしています。

## JA共済の取り組み

ひと・いえ・くるまに関する生活総合保障の提供

健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりへの貢献

共済事業

地域貢献活動

車の両輪

- 生命総合共済
- 建物更生共済
- 自動車共済・自賠責共済

- 事故の未然防止活動
- 事故後の相互扶助活動

# 共済事業

「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じて、組合員・利用者の皆さまの豊かな生活づくりに努めます。

## ひと・いえ・くるま、大きく広がった保障の輪 (平成22年度 事業概要)



**ひと** 万一の保障はもちろん、医療保障も充実している生命総合共済  
生命総合共済(保有)  
加入件数：**1,490万件** 保障金額：**164兆168億円**



**いえ** 地震を含む自然災害や火災などの幅広い保障でマイホームを守る建物更生共済  
建物更生共済(保有)  
加入件数：**1,109万件** 保障金額：**147兆612億円**



**くるま** 確かな保障と充実したサービスの自動車共済・自賠責共済  
自動車共済(保有) 自賠責共済(保有)  
加入件数：**846万件** 加入台数：**706万台**

### お役に立った共済金

万一のときや満期のときなどに共済金をお支払いし、皆さまにお役立ていただいています。

平成22年度にお支払いした共済金  
**3兆6,760億円**

内訳

#### 生命総合共済

万一のお支払い ..... 5,582億円  
満期等のお支払い ..... 1兆7,285億円

#### 建物更生共済

万一のお支払い ..... 651億円  
満期等のお支払い ..... 1兆65億円

#### 自動車共済

..... 2,061億円

#### その他共済

..... 1,112億円

### 自然災害にも確かな保障

巨大災害などのリスクに確実に備えるため、異常危険準備金の積み立てを行うとともに、海外への再保険も行っています。

東日本大震災への対応状況(平成23年7月末現在)

自然災害による過去最大のお支払いとなっています。皆さまの一日も早い復旧・復興に向けて総力をあげて支援してまいります。

建物更生共済など ..... 358,026件 / 5,948億円

平成22年度の主な自然災害に対する建物更生共済のお支払い

平成22年12月 雪害(北海道ほか)  
4,891件 / 28億1千万円

過去の主な自然災害に対する建物更生共済のお支払い(平成7年以降)

平成7年1月:阪神・淡路大震災(兵庫・大阪・京都ほか)  
101,535件 / 1,188億8千万円

平成11年9月:台風18号(熊本・山口・鹿児島ほか)

179,978件 / 636億9千万円

平成16年9月:台風18号(山口・熊本・福岡ほか)

284,396件 / 1,080億6千万円

平成16年10月:新潟県中越地震(新潟・群馬・福島ほか)

87,646件 / 773億6千万円

平成19年7月:新潟県中越沖地震(新潟・長野ほか)

32,269件 / 317億4千万円

# 地域貢献活動

「事故の未然防止活動」と「事故後の相互扶助活動」を通じて組合員・利用者の皆さまが健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献します。

## 1 交通事故対策活動

- 交通安全教室
- ドライビングシミュレーター
- 警察と連携した3つの交通事故対策活動
- 自転車事故防止対策
- 介助犬の育成・普及支援
- リハビリテーションセンターの開設
- 各種交通事故対策活動
- 各種団体への支援等



## 2 健康管理・増進活動

- レインボー体操
- 笑いと健康教室
- 健康・介護ほっとライン
- 健康診断・人間ドック助成



## 3 高齢者・身障者福祉活動

- 高齢者・身障者福祉活動助成
- 高齢者集団保養検診

## 4 宿泊保養施設運営



## 5 災害救援活動

- 激甚災害救援制度
- 特別災害救援制度
- 仮設住宅貸与制度
- 災害シートサービス



## 6 文化支援活動

- 小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール



三年  
田中  
千景  
生命の神秘

## 7 環境保全活動

- CO<sub>2</sub>削減への取り組み
- リボンキャンペーン



# 交通安全教室(幼児向け)

親と子の交通安全ミュージカル「魔法園児 マモルワタル」各地で開催  
楽しい歌と踊りで交通ルールを学びます!!



平成16年度から、就学前の幼稚園・保育園と保護者を対象とした、ミュージカル形式の交通安全教室を全国各地で実施しています。このミュージカルは、舞台の

上の横断歩道で園児が実際に体験できるなど、客席の園児、保護者の皆さんと舞台がひとつになって、楽しみながら交通ルールを学べる構成となっています。

●後援:内閣府/警察庁/国土交通省 ●推薦:財団法人 全日本交通安全協会



ミュージカルを観た全国各地の子供達から寄せられた似顔絵や手紙

## ■あらすじ

魔法界のマモルワタルは、いつも元気に飛び回っている魔法幼稚園のワンパク園児。あまりのワンパクさに魔法幼稚園の園長先生から人間界へ修行に送られます。そこで、園児スナオ君と警察官のお姉さんに助けられ、横断歩道の渡り方や信号機の意味など、交通ルールを学んでいきます……。



## ■園児たちの歌声が響き、会場は毎回盛況です。



ミュージカルはわかりやすい言葉と軽快なテンポで演じられ、子どもたちも一緒に声を出しながら交通ルールを学んでいます。「交通ルールを守ることの大切さが学べた」、「交通安全への意識づけになる」などと保護者の方々からもたくさんの反響をいただいています。

## ■保護者の方々・先生の声

- マモルワタルのキャラクターがすごくかわいく、ダンスもあり安全な横断歩道の渡り方も楽しく覚えられました。園に帰ってもみんなで練習します。
- 今日は素晴らしい心に残るミュージカルをありがとうございました。子どもたちも集中して見たり答えたりしていました。
- 歌や踊り、笑いもあって子どもたちも最後までちゃんと見ていました。子どもにはしつこく繰り返す言い聞かせたほうがよいので、その意味でも非常によかったです。
- 大人も楽しく見ることができました。大切な子どもたちの命を守るためにも、もっと多くの人に見てもらいたいと思いました。

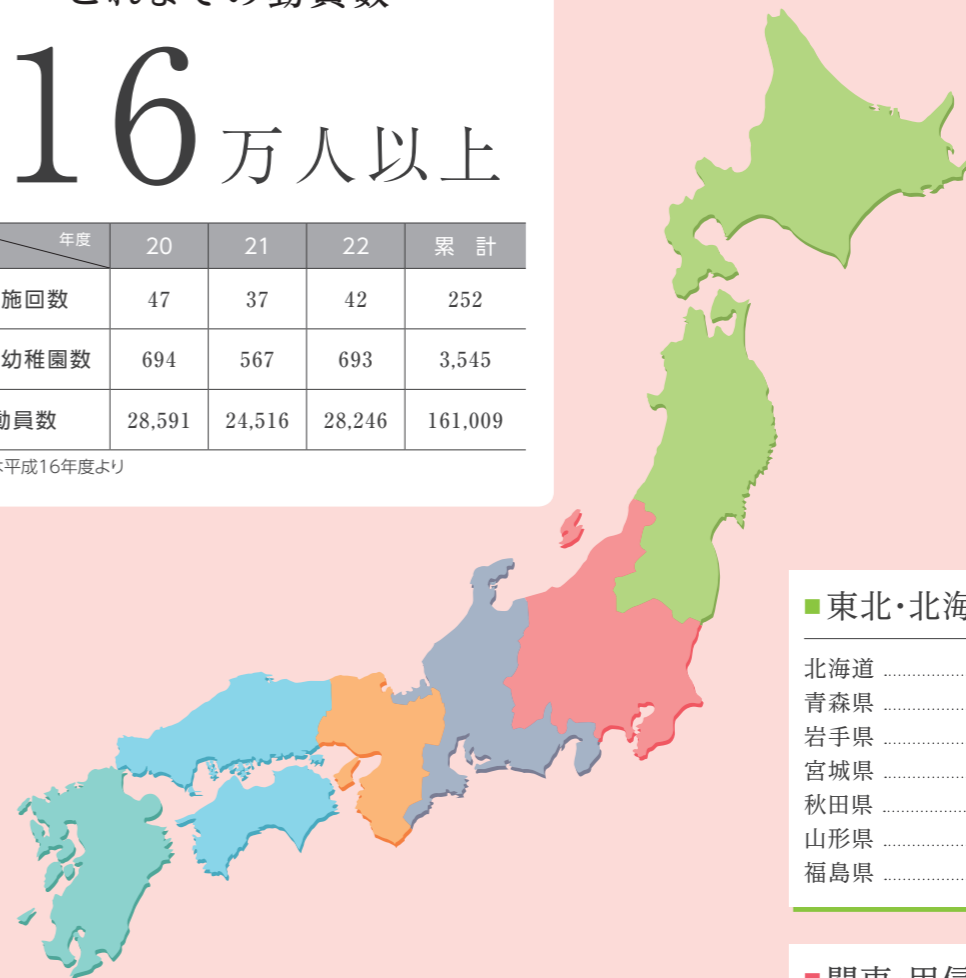
## ■「交通安全ミュージカル」の実施規模

これまでの動員数

# 16万人以上

項目	年度	20	21	22	累計
実施回数		47	37	42	252
参加幼稚園数		694	567	693	3,545
動員数		28,591	24,516	28,246	161,009

※累計は平成16年度より



### ■東北・北海道 地区 動員数

北海道	1,835人
青森県	3,372人
岩手県	2,840人
宮城県	5,217人
秋田県	4,519人
山形県	3,072人
福島県	4,393人

### ■関東・甲信越 地区 動員数

茨城県	3,011人
栃木県	4,108人
群馬県	2,478人
埼玉県	2,032人
千葉県	4,912人
東京都	6,900人
神奈川県	682人
山梨県	2,551人
長野県	575人
新潟県	4,051人

### ■近畿 地区 動員数

滋賀県	3,547人
京都府	7,232人
大阪府	5,201人
兵庫県	2,739人
奈良県	1,097人
和歌山県	2,328人

### ■九州 地区 動員数

福岡県	4,546人
佐賀県	3,730人
長崎県	3,374人
熊本県	2,579人
大分県	1,407人
宮崎県	1,249人
鹿児島県	2,906人
沖縄県	3,082人

### ■中国・四国 地区 動員数

鳥取県	4,054人
島根県	3,245人
岡山県	3,511人
広島県	1,830人
山口県	3,899人
徳島県	1,734人
香川県	5,059人
愛媛県	6,930人
高知県	1,763人

### ■東海・北陸 地区 動員数

富山県	3,525人
石川県	4,151人
福井県	2,816人
岐阜県	4,365人
静岡県	4,917人
愛知県	2,135人
三重県	3,689人

全国本部	動員数1,821人
------	-----------

# 交通安全教室(高齢者向け)

## 落語を取り入れた交通安全教室を開催 全国の高齢者の方々に大好評です!!

事故のおよそ半数を占める高齢者の交通事故をなくすために、平成17年度から高齢者向け交通安全教室を開催しています。JA共済オリジナルの「交通安全落語」で笑いながら交通安全の意識を高め、「レインボー体操」で身体機能の低下を予防。誰でも楽しく参加できる内容になっています。



(平成23年7月現在)

### 交通安全教室のプログラム(所要時間:90分※) ※実施時間の目安です。

- 交通安全講話 ..... 15分  
地域の警察、交通安全協会の方による講話
- 反射リストバンドの配布 ..... 5分  
夜道での交通事故を防止するために
- 身体機能の衰えに関するビデオ上映 ..... 15分  
加齢にともなう身体機能の衰えに関するビデオ
- 敏捷性測定 ..... 10分  
「にぎるくん」を使った敏捷性測定
- 交通安全体操 ..... 15分  
加齢にともなう身体機能の低下を予防する「交通安全レインボー体操」
- 交通安全落語 ..... 30分  
交通安全落語で高齢者の交通安全をゆかいに啓発



### ■体操で体を動かし、落語で笑い、心も体もリラックス!

参加した方々から  
たくさんの感想を  
いただきました!

- 笑いは健康のもと、たいへん良い企画だと思った。
- 笑いが多く、楽しい1日になりました。たいへん有意義な催しでした。今後も事故防止の企画をお願いします。
- 久しぶりに身体を動かし、笑った。今後もこのような教室を開催してほしい。
- 交通安全の大切さを再認識した。自分の住む地域から交通事故を絶対に出さないように心がけたいと思います。
- 勉強になりました。ありがとうございました。
- 特に体操はできるだけ続けたいと思った。落語もたいへんおもしろかったです。

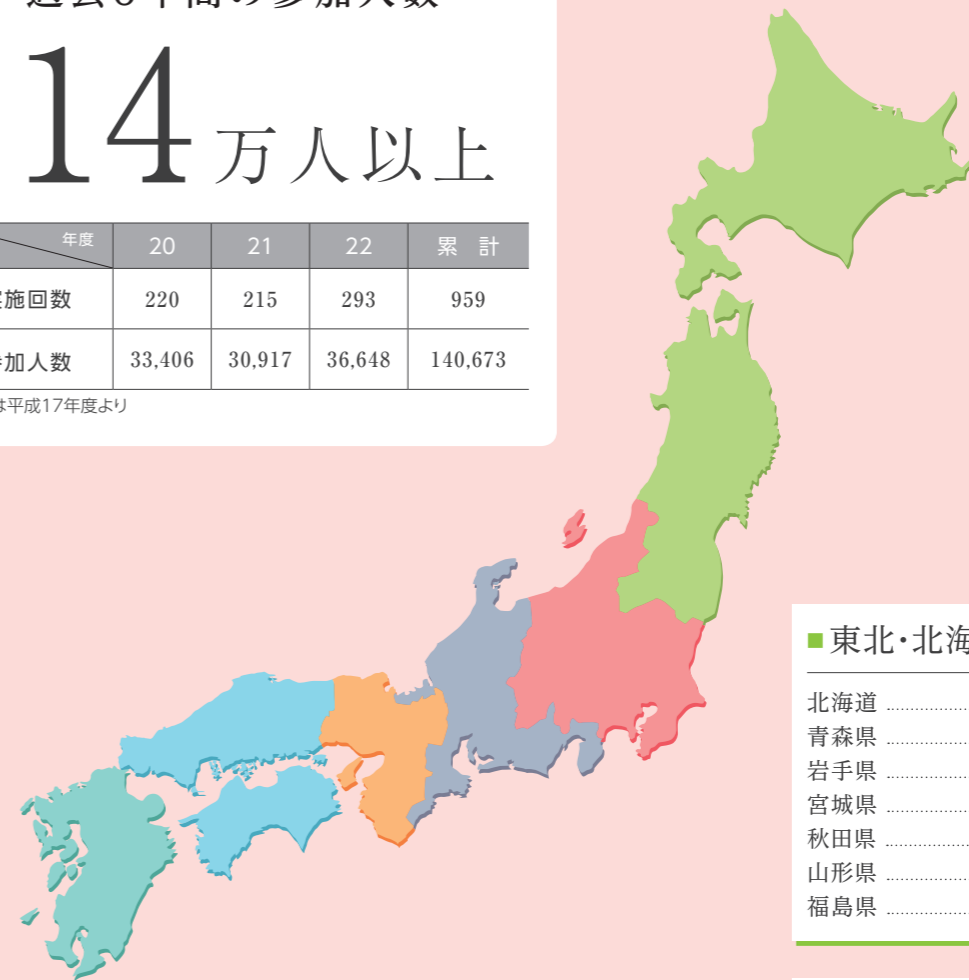
## ■「高齢者向け交通安全教室」の実施規模

### 過去6年間の参加人数

# 14万人以上

項目	年度	20	21	22	累計
実施回数		220	215	293	959
参加人数		33,406	30,917	36,648	140,673

※累計は平成17年度より



### ■東北・北海道地区 参加人数

北海道	1,472人
青森県	2,607人
岩手県	631人
宮城県	6,273人
秋田県	4,294人
山形県	2,760人
福島県	14,886人

### ■関東・甲信越地区 参加人数

茨城県	779人
栃木県	798人
埼玉県	2,662人
千葉県	1,081人
東京都	6,396人
神奈川県	862人
山梨県	288人
長野県	1,668人
新潟県	1,476人

### ■近畿地区 参加人数

滋賀県	6,013人
京都府	2,440人
大阪府	2,453人
兵庫県	3,090人
奈良県	581人
和歌山県	1,177人

### ■九州地区 参加人数

福岡県	3,067人
佐賀県	1,038人
長崎県	130人
熊本県	9,602人
大分県	2,582人
宮崎県	160人
鹿児島県	360人
沖縄県	712人

### ■中国・四国地区 参加人数

鳥取県	1,414人
島根県	4,187人
岡山県	1,036人
広島県	453人
山口県	5,371人
徳島県	897人
香川県	2,128人
愛媛県	5,746人
高知県	13,292人

### ■東海・北陸地区 参加人数

富山県	3,497人
石川県	2,051人
福井県	750人
岐阜県	1,040人
静岡県	243人
愛知県	9,663人
三重県	1,326人

全国本部 ..... 参加人数5,241人

03 安全運転診断

交通事故を防ぐために

ドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」で安全運転をチェック!



高齢ドライバーの交通事故を防ぐために、JA共済では、平成20年度からドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」を全国7ヵ所に配置し、巡回型の安全運転診断を行っています。過去の事例を参考に、

事故を起こしやすい場面を再現したドライビングシミュレーターを使い、約10分間の講習で交通安全のアドバイスが受けられる内容となっています。



■ドライビングシミュレーター

「きずな号」に搭載されたドライビングシミュレーターは、3面のモニターやスピーカーによって、実際の運転状況を再現。いままで自分では気づかなかった「うっかりミス」など、事故を起こさないために気をつけなくてはならないことを確認できます。

■参加した方々の声

- 自分の運転を客観的に判断できてよかった。自分では気づかないことが多かった。
- 交通事故の発生パターンを具体的に体験できたので良かったです。
- 年をとると判断がにぶくなるのはやむを得ないが、自分の今を知るのにとっても良い機会でした。
- 大変ためになりました。定期的に行うと常に初心に戻れそうで良いなと思いました。
- 自分では運転に自信があると思っていたが、診断を参考にして安全運転に努めたい。

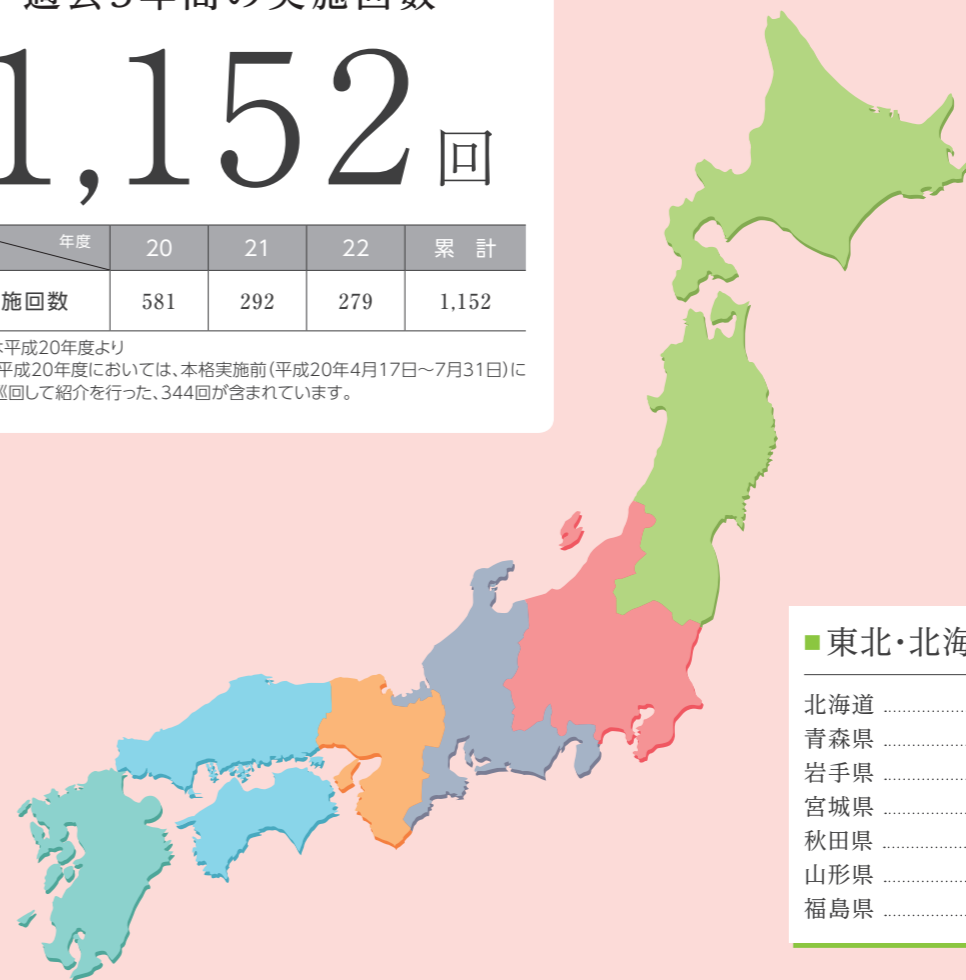
■「ドライビングシミュレーター」の実施規模

過去3年間の実施回数

1,152回

項目	年度	20	21	22	累計
実施回数		581	292	279	1,152

※累計は平成20年度より  
なお、平成20年度においては、本格実施前(平成20年4月17日~7月31日)にJAを巡回して紹介を行った、344回が含まれています。



■東北・北海道地区 実施回数

北海道	222回
青森県	4回
岩手県	2回
宮城県	24回
秋田県	17回
山形県	45回
福島県	26回

■関東・甲信越地区 実施回数

茨城県	36回
栃木県	9回
群馬県	26回
埼玉県	38回
千葉県	11回
東京都	13回
神奈川県	21回
長野県	9回
新潟県	10回

■近畿地区 実施回数

滋賀県	22回
京都府	21回
大阪府	18回
兵庫県	59回
奈良県	3回
和歌山県	14回

■九州地区 実施回数

福岡県	41回
佐賀県	10回
長崎県	2回
熊本県	52回
大分県	27回
宮崎県	5回
鹿児島県	3回
沖縄県	55回

■中国・四国地区 実施回数

島根県	16回
岡山県	41回
広島県	52回
山口県	10回
徳島県	4回
香川県	15回
愛媛県	27回
高知県	5回

■東海・北陸地区 実施回数

富山県	4回
石川県	11回
福井県	15回
岐阜県	43回
静岡県	17回
愛知県	22回
三重県	25回

# 地域の交通安全運動

地域の交通安全運動に  
たくさんの方々に参加していただいています



親と子の交通安全教室

春と秋に開催する全国交通安全運動への参加のほか、自治体や警察などと連携した交通安全教室の開催、学校等への各種資材の寄贈、役職員による街頭募金や安全運転への呼び掛け運動など、全国各地で地域に根ざしたさまざまな交通安全運動を展開しています。



学童用交通安全傘贈呈式



交通事故被害者のための募金活動



役職員による交通安全街頭呼びかけ運動

平成22年  
交通安全  
年間スローガン

〈こども部門〉

さあかくにん  
ライト ブレーキ  
ヘルメット

〈一般部門〉

安心を  
光で届ける  
反射材

〈歩行者・自転車利用者に対するもの〉

その電話  
運転席では  
圏外です

〈運転者(同乗者を含む)に対するもの〉

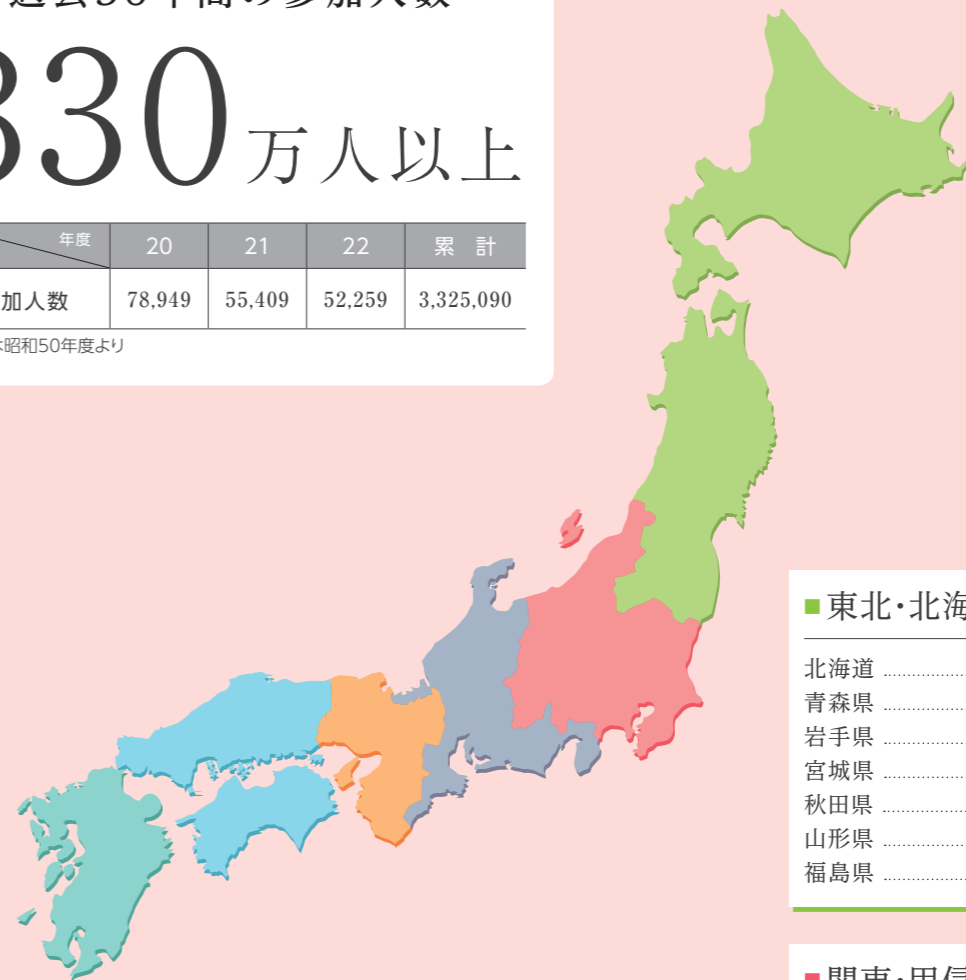
## 「各県で実施されている交通安全教室」の参加人数

過去36年間の参加人数

# 330万人以上

項目	年度	20	21	22	累計
参加人数		78,949	55,409	52,259	3,325,090

※累計は昭和50年度より



### ■東北・北海道 地区 参加人数

北海道	19,382人
青森県	27,760人
岩手県	60,583人
宮城県	17,817人
秋田県	62,934人
山形県	9,324人
福島県	448,535人

### ■関東・甲信越 地区 参加人数

茨城県	10,527人
栃木県	20,848人
群馬県	112,302人
埼玉県	544,065人
千葉県	15,882人
東京都	2,130人
神奈川県	1,942人
山梨県	5,688人
長野県	718,155人
新潟県	55,019人

### ■近畿 地区 参加人数

滋賀県	13,260人
京都府	21,608人
大阪府	8,693人
兵庫県	25,501人
奈良県	32,468人
和歌山県	13,924人

### ■中国・四国 地区 参加人数

鳥取県	13,799人
島根県	13,796人
岡山県	80,247人
広島県	98,975人
山口県	51,864人
徳島県	52,501人
香川県	11,304人
愛媛県	39,446人
高知県	5,796人

### ■九州 地区 参加人数

福岡県	37,519人
佐賀県	28,301人
長崎県	14,099人
熊本県	13,435人
大分県	18,533人
宮崎県	18,426人
鹿児島県	88,907人
沖縄県	12,354人

### ■東海・北陸 地区 参加人数

富山県	11,926人
石川県	110,335人
福井県	5,924人
岐阜県	39,882人
静岡県	14,433人
愛知県	250,735人
三重県	44,206人

## 3つの交通事故対策支援活動

警察等と連携した地域貢献活動  
3つの交通事故対策を支援

地域の皆さまが安心して毎日を送ることができるように、JA共済では警察等と連携して、3つの交通事故対策を支援しています。歩行や自転車、そして自動車に関する安全など、日々の生活の中にある身近な視点で交通安全を呼びかけています。

## ■生徒向け自転車交通安全教育事業の支援



中学校や高等学校で行われる交通安全教室の際、危険な自転車走行に伴う交通事故の実演(スタントマン)により、生徒に危険性を疑似体験させる教育事業(スクエア・ストレイト教育技法)の推進を支援しています。

## ■交通安全ラッピングバス事業の支援

交通安全を呼びかける文字などのデザインを路線バス(路面電車)の車体に施す、ラッピングバス事業の推進を支援しています。



## ■交通安全横断旗配布事業の支援



新入児童(小学1年生)を対象にアンパンマンのキャラクターを起用した交通安全横断旗を無償配布する事業を支援しています。

©やなせ・F・N

## 自転車の交通安全教育支援

自転車の交通安全に関するDVDと冊子を  
中学校・高等学校に無償配布

自転車は多くの学生が通学や日常生活の中で使用しています。しかし身近な移動手段だけに子どもや若者の自転車事故が増え、社会問題になりつつあります。子どもたちの自転車事故を防ぐためには、交通ルールの大切さを理解し、安全運転に対する意識を高める取り組みが欠かせません。

JA共済ではこうした情勢を踏まえて、「自転車交通安全教育DVD」と「自転車交通安全ブック」を中学校や高等学校に無償配布し、教育現場での指導を支援しています。

DVDや冊子では「被害者になったときの痛み」と「加害者になったときの責任の重さ」という2つの視点から、実際に起こりやすい事例で、わかりやすく説明しています。

## ■自転車交通安全教育DVD(中学生・高校生対象)

事故発生件数のデータや、リアルな再現映像、加害者としての責任など、自転車事故を幅広い視点でとらえた収録内容です。



## ■自転車交通安全ブック(中学1年生対象)

交通安全の基本ルールから自転車事故の検証まで詳しく紹介。さらに自転車交通安全に関するクイズなど、興味を持って学べる内容です。



# 介助犬の育成・普及支援活動

## 「介助犬」の育成・普及支援を通じて 交通事故被害者の社会復帰を応援しています



新聞を持ってくる

介助犬とは、交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活をお手伝いする犬のことです。JA共済では、介助犬の育成・普及支援に取り組み、介助犬の受け入れに対する理解を促進するため、介助犬による

デモンストレーションやJA共済が企画・制作した介助犬の絵本の読み聞かせによる活動を通じ、障がい者の方の自立と社会復帰を支援しています。

### ■介助犬デモンストレーション 「ガンバレ！ 介助犬！ JA共済はたらくワンワンランド！」



●後援：厚生労働省

### ■絵本 「世界でいちばん幸せな犬」「ハナちゃんの帽子」



### ■テレビCM 「願いのアルバム」篇



### ■介助犬とは？

介助犬とは、身体の不自由な方の手助けをするために特別なトレーニングを積んだ犬のことをいいます。盲導犬が目の不自由な方の目となって障害物や曲がり角の存在を知らせるように、介助犬は肢体不自由者の手足となり、物を持ったりドアを開閉した

りして日常生活における動作を補助します。「身体障害者補助犬法」により補助犬(介助犬、聴導犬、盲導犬)が公共の施設や交通機関に同伴立ち入りができるようになり、デパートやホテル、飲食店などの一般施設でも受け入れが義務化されています。

### ■介助犬のいろいろな仕事



ドアを開閉する



車椅子の移動補助



ドアを開ける



起き上がりの補助



落としたものを拾う



上着を脱がせる



買い物時の様子



エレベーターのボタンを押す



タンスからタオルを取ってくる



券券機から券を取ってくる(デモンストレーション)



靴下を脱がせる

手足が不自由で車椅子を使う人に付き添い、物を持ってくる・ドアを開閉する・体を動かすのを手伝うなど、障がいの度合いや環境に応じたさまざまな仕事をします。また、障がい者の方が車椅子から転落して起き上

がれないときに、電話を持ってきたり人を呼びに行くなど、緊急時の連絡の手助けをするのも介助犬の大きな役割です。

写真提供：NPO法人 日本介助犬アカデミー・社会福祉法人 日本介助犬協会

# 08 リハビリテーション

交通事故被害者の社会復帰のために

交通事故対策活動

## 2つのリハビリテーションセンターで交通事故被害者などの社会復帰をお手伝いしています

JA共済のリハビリテーションセンターは、静岡県中伊豆と大分県別府にあります。これら2つのリハビリテーションセンターは、「病院」「福祉施設」「介護施設」の3つの機能を持った全国でも数少ない総合型の施設です。1973年の設立以来、35年以上にわたって「身体障がい者のしあわせ」と「福祉社会の建設に寄与すること」を理念として交通事故被害者などの社会復帰をお手伝いしています。



■リハビリテーションセンター利用者数(昭和48年度～平成22年度の累計)

	中伊豆 リハビリテーション センター	別府 リハビリテーション センター	合計
利用者数 (入院・入所者数)	17,094人	11,147人	28,241人



### ■農協共済 中伊豆リハビリテーションセンター

- 敷地面積/163,695m<sup>2</sup> ● 建物床面積/30,401m<sup>2</sup>
- 利用定員/障害者自立支援施設54名、障害者就労支援施設40名、身体障害者療護施設40名、身体障害者療護施設(伊東の丘)40名、病院(回復期リハ病棟)110床
- 職員数/319人

入所・入院の  
お問い合わせ先 静岡県伊豆市冷川1523-108  
電話:(0558)83-2111

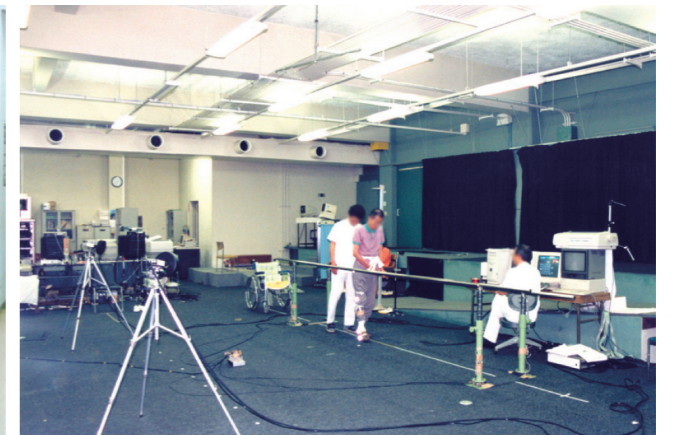


### ■農協共済 別府リハビリテーションセンター

- 敷地面積/151,984m<sup>2</sup> ● 建物床面積/32,809m<sup>2</sup>
- 利用定員/障害者支援施設80名、病院(回復期リハ病棟)97床、福祉ホーム5名、障害福祉サービス事業所40名(通所)、通所リハビリテーション事業100名、みょうばんクリニック
- 職員数/266人

入所・入院の  
お問い合わせ先 大分県別府市鶴見1026-10  
電話:(0977)67-1711

## 中伊豆・別府のリハビリテーションセンターによる介護ノウハウの提供を行っています



JA共済では介護事業の質的向上を図るために在宅介護事業の支援のほか、中伊豆・別府のリハビリテーションセンターで蓄積された介護ノウハウなどを提供しております。

### 介護ノウハウ等の提供方法

- 介護専門職による個別指導の実施  
JAなどから要請があった場合に両リハビリセンターの介護専門家が直接出向いて指導します。
- 研修会の実施  
JAの介護事業に携わる人材を集めた県やリハビリセンターで研修会を実施しています。
- 事後指導、相談対応  
メール、FAXなどで随時実施しています。

### 介護ノウハウ等の提供内容(例)

#### ■基本的なことについて

- ①通所介護サービス業務の基本的な研修(考え方、役割、すすめ方など)
- ②機能訓練等に関する基本的な研修(目的、すすめ方、高齢者・身体機能の知識など)

#### ■機能訓練・レクリエーションについて

- ①プログラム・メニュー
- ②実施方法、サービス提供の留意点等
- ③訓練等の技術・方法等

#### ■その他

- ①送迎、入浴サービスなどの提供方法等
- ②介護技術(移動、排泄など)
- ③その他日頃のサービス提供業務での悩み事等(助言)



交通事故対策活動

# 各種団体への支援等

## 各種団体への支援等を通じた 地域貢献活動に取り組んでいます

JA関連医療機関の救急医療およびリハビリ医療の充実を図ることにより、交通事故被害者の救命や交通事故身障者の社会復帰の支援を行っています。このほか交通事故の対策としてカーブミラーの設置、救急車の寄贈など、さまざまな支援活動を実施しています。

また、ドクターヘリの普及促進支援も実施しています。東日本大震災では、全国から集結したドクターヘリが、孤立した病院の患者の救出など、被災者救援に貢献しました。

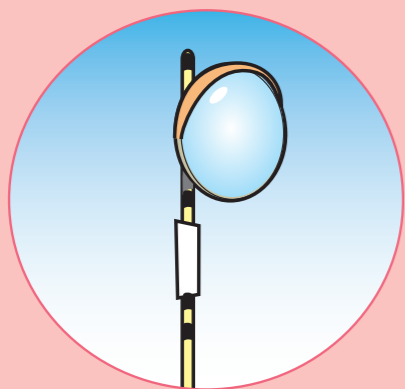


### 各種交通事故対策関連団体への支援

- 交通安全関連団体等への寄付(昭和49年～)
- 交通事故被害者支援団体等への寄付(昭和47年～)
- 全日本交通安全協会への寄付(平成3年～)
- 交通遺児育成基金への寄付(昭和55年～)
- その他団体への寄付(昭和49年～)
- その他団体への寄付(昭和47年～)

カーブミラーの設置 平成8年度からの累計 **15,806**基

救急車の寄贈 平成8年度からの累計 **129**台



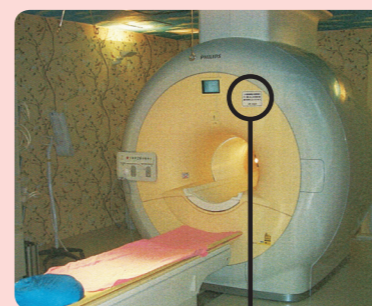
## 「救急・リハビリ医療機器助成」の病院延数

過去8年間の助成病院延数

# 431 病院

項目	年度	20	21	22	累計
助成病院数		59	60	62	431

※累計は平成15年度より

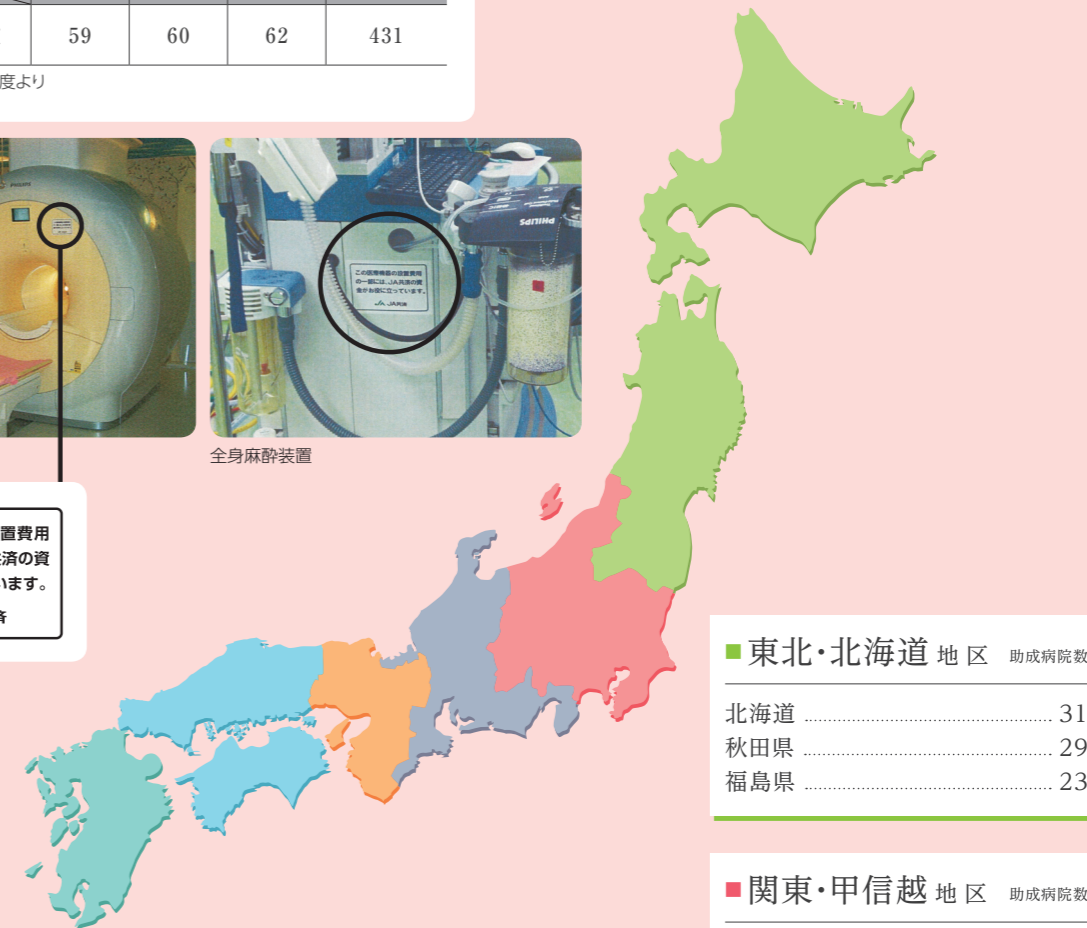


磁気共鳴断層撮影装置



全身麻酔装置

この医療機器の設置費用の一部には、JA共済の資金がお役に立っています。



■東北・北海道地区 助成病院数

北海道	31
秋田県	29
福島県	23

■関東・甲信越地区 助成病院数

茨城県	22
栃木県	29
埼玉県	11
千葉県	2
神奈川県	11
山梨県	2
長野県	27
新潟県	44

■近畿地区 助成病院数

兵庫県	3
-----	---

■中国・四国地区 助成病院数

島根県	7
広島県	21
山口県	18
徳島県	9
香川県	15
高知県	8

■九州地区 助成病院数

福岡県	11
大分県	8
鹿児島県	8

■東海・北陸地区 助成病院数

富山県	7
岐阜県	13
静岡県	26
愛知県	21
三重県	25

# 10 レインボー体操

ずっと健康であるために

健康増進に役立つレインボー体操  
いつでも、どこでも、だれにでもできる体操です



JA共済がおすすめしている健康増進のための体操です。立っても、座っても、寝たままでもできますので、日頃運動をしていない方、体力に自信のない方、お年を召した方にも気軽に楽しんでいただけます。

### ■レインボー体操は、健康増進に役立っています

- 誰にでもできる簡単な動きで、「肩こり・腰痛の解消」「生活習慣病予防」「老化防止」「リフレッシュ」に効果が期待できます。
- レインボー体操は、JA共済が昭和59年に組合員の方々の健康増進のために、安全で楽しく続けることができる運動として開発しました。
- 心臓に負担をかけないやさしい動きで、全身の血液の流れが良くなります。
- 考案者は二村ヤン子先生で、ご自身のリハビリ体験から生まれました。



### ■見ながら体操ができるDVDやさまざまな資料を提供しています。



### ■「JA共済のレインボー体操」パンフレットより「ひざの痛みの予防」

ひざの周りの筋肉を強くして、痛みを緩和。1~3を、3セット繰り返します。

<p>1</p> <p>つま先をあげて左足を左斜め前に伸ばし、あごを出して前屈する。4回繰り返す。右足も同様に。</p>	<p>2</p> <p>左足を8回抱え込む。右足も同様に。</p>	<p>3</p> <p>左ひざの裏に両手の指を入れて支える。この状態で、足を8回プラプラさせて、ひざから下を前に曲げ伸ばしする。右足も同様に。</p>
--	-----------------------------------	---

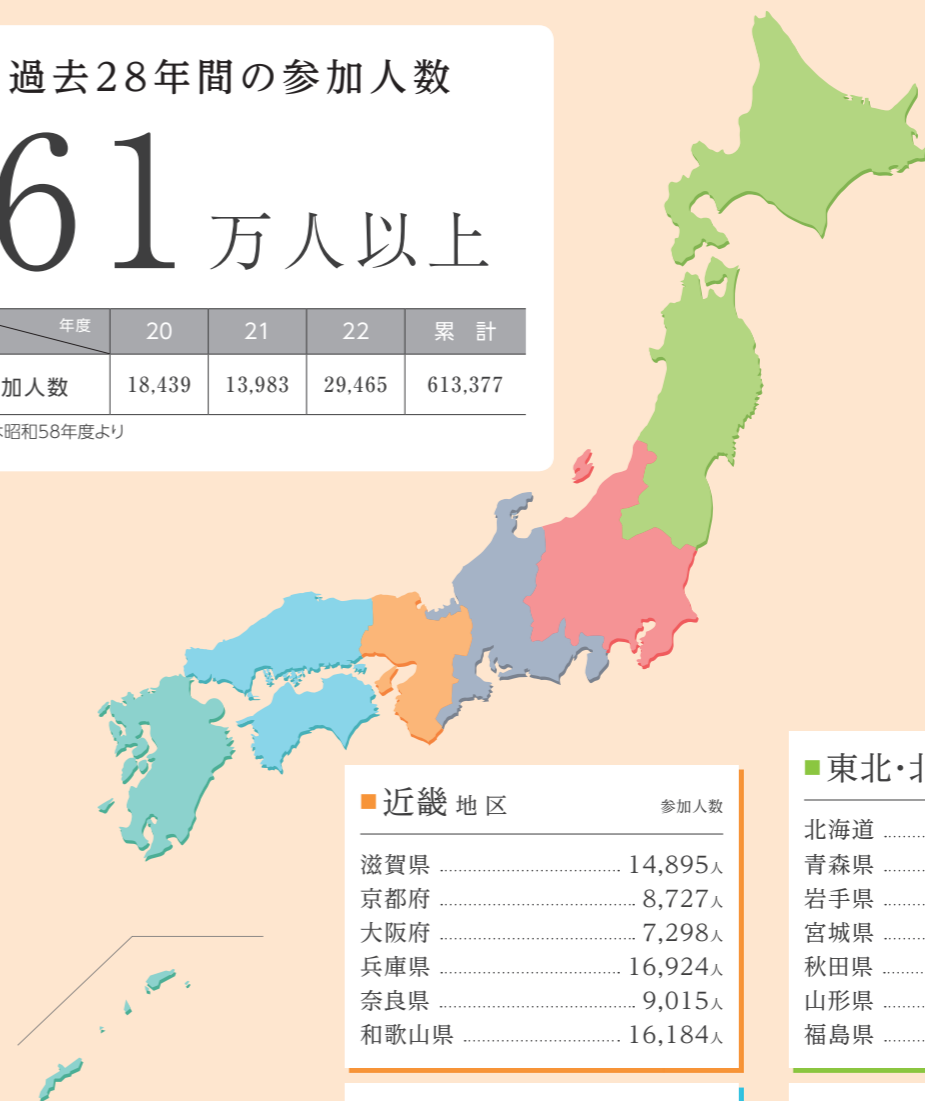
## ■「レインボー体操」の実施規模

過去28年間の参加人数

# 61 万人以上

項目	年度	20	21	22	累計
参加人数		18,439	13,983	29,465	613,377

※累計は昭和58年度より



### ■近畿地区 参加人数

滋賀県	14,895人
京都府	8,727人
大阪府	7,298人
兵庫県	16,924人
奈良県	9,015人
和歌山県	16,184人

### ■東北・北海道地区 参加人数

北海道	621人
青森県	596人
岩手県	6,950人
宮城県	8,241人
秋田県	6,644人
山形県	390人
福島県	48,099人

### ■中国・四国地区 参加人数

鳥取県	28,019人
島根県	17,118人
岡山県	2,299人
広島県	18,100人
山口県	18,712人
徳島県	838人
香川県	1,940人
愛媛県	4,010人
高知県	3,621人

### ■関東・甲信越地区 参加人数

茨城県	1,865人
栃木県	7,288人
群馬県	16,470人
埼玉県	5,162人
千葉県	13,978人
東京都	1,233人
神奈川県	72,592人
山梨県	2,506人
長野県	5,981人
新潟県	10,277人

### ■九州地区 参加人数

福岡県	8,024人
佐賀県	12,983人
長崎県	28,921人
熊本県	19,178人
大分県	11,915人
宮崎県	3,807人
鹿児島県	17,619人
沖縄県	1,300人

### ■東海・北陸地区 参加人数

富山県	56,020人
石川県	14,001人
福井県	1,186人
岐阜県	15,503人
静岡県	19,577人
愛知県	16,823人
三重県	9,927人

### ■参加した方々の声

- イスにかけながら、無理のない動きで全身運動ができ、終わってから体が温まり、軽くなっているのに驚きました。
- 激しい動きや無理な屈伸だと長続きしなかったけど、これならいいなあと思いました。
- 毎日続けて楽しい人生を送りたいものです。
- 毎日歩いていますが、この体操は雨の日でもできるのでぜひ続けたい。
- わかりやすく楽しくなるご指導で本当に感謝しています。
- リンパの働き、血液の流れや役割など、よく理解できた。家の中でほとんど動かない両親にまずすすめたいと思う。

# 11 笑い与健康教室

健康であるために

健康管理・増進活動

## 「笑い」の効果を取り入れたプログラム 皆さんで楽しめる健康教室です

近年、「笑い」がもたらす健康への効果がクローズアップされ、医療の現場でも導入されはじめています。JA共済では、地域貢献活動の一環として「笑い与健康」に着目した教室を開催しています。

なぜ笑うことが健康に良いのか、笑うことが身体にどんな変化をもたらすのかをビデオを通して学び、みんなで一緒に体操をしたり、ゲームを楽しんだりしながら健康増進につなげます。毎日の生活に「笑い」を取り入れて健康になることを目的にしています。



(笑い与健康ビデオより)

■ 笑い与健康グッズ

■ ゲルマニウムブレスレット

■ メタボメジャー

■ つぼ押し

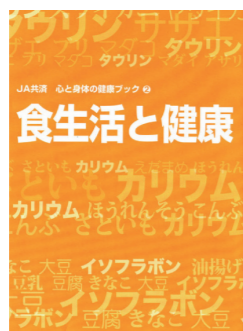
### 教室の主な内容

- 笑い与健康ビデオ(前編)
- Oh! 笑い体操
- 笑い与健康ゲーム
- 笑い与健康ビデオ(後編)
- 落語
- 笑いヨガ



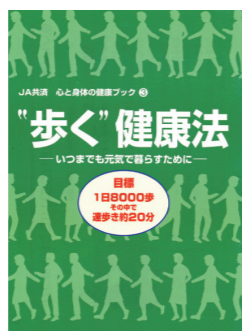
### ■ 笑い与健康

日本医科大学名誉教授、吉野横一先生による「笑い与健康」のお話や、ご家庭でも気軽にできる体操、ゲームなどをご紹介しています。



### ■ 食生活与健康

京都大学名誉教授、家森幸男先生による「長寿のための6か条」のほか、おいしくて簡単に作るおすすめ健康レシピなどをご紹介しています。



### ■ 歩く健康法

東京都老人総合研究所の青柳幸利先生による「歩く健康法」で、「1日8000歩、そのなかで速歩き約20分」のすすめと健康への効果をご紹介します。



### ■ レクリエーションゲーム

家族やグループで楽しめるゲームが盛り沢山。体を使うものから頭の体操まで、盛り上がること間違いなしのゲームをご紹介します。



### ■ 笑いヨガ

「笑い」の体操と「ヨガ」の呼吸法を組み合わせた「笑いヨガ」。体操として笑ううちに体が温まり気分も晴れる、誰にでもできる健康法をご紹介します。

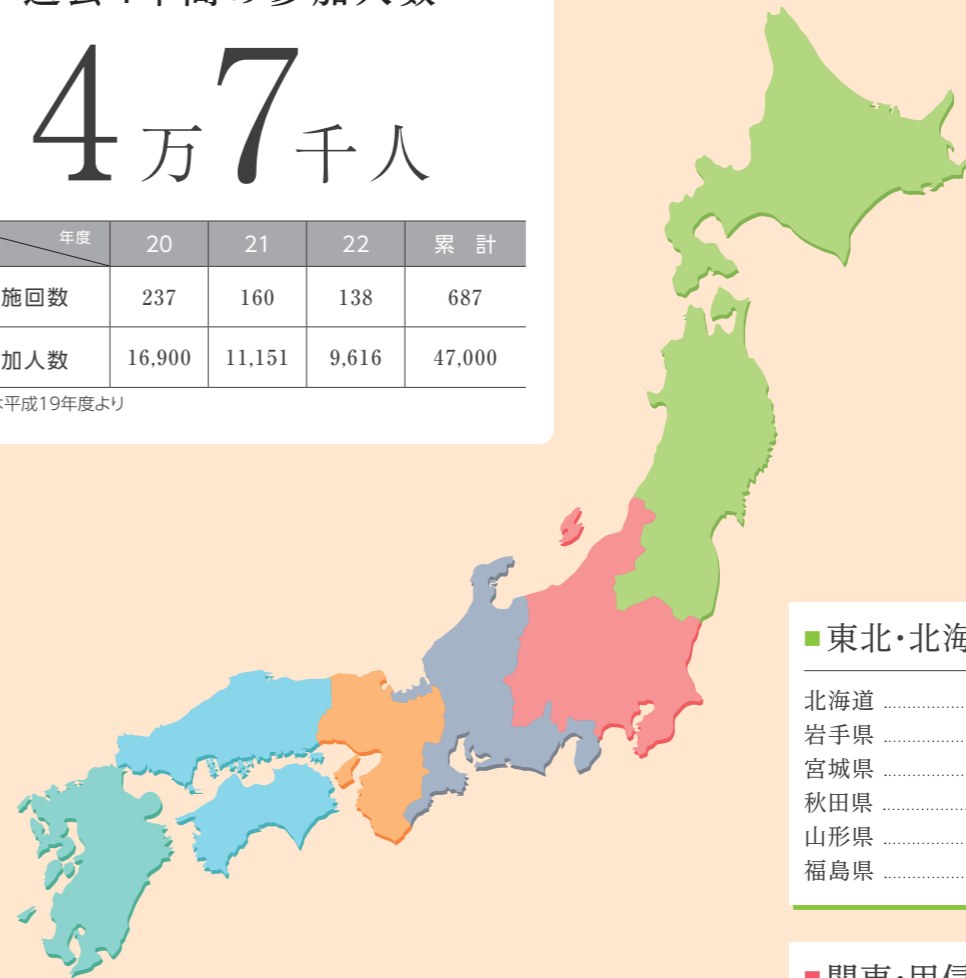
## 「笑い与健康教室」の実施規模

### 過去4年間の参加人数

# 4万7千人

項目	年度	20	21	22	累計
実施回数		237	160	138	687
参加人数		16,900	11,151	9,616	47,000

※累計は平成19年度より



### ■ 東北・北海道 地区 参加人数

北海道	1,414人
岩手県	567人
宮城県	5,638人
秋田県	235人
山形県	200人
福島県	1,000人

### ■ 関東・甲信越 地区 参加人数

茨城県	50人
栃木県	510人
群馬県	195人
埼玉県	1,923人
千葉県	1,090人
東京都	3,546人
神奈川県	532人
山梨県	520人
長野県	298人
新潟県	1,862人

### ■ 近畿 地区 参加人数

滋賀県	2,742人
京都府	1,270人
大阪府	710人
奈良県	701人
和歌山県	130人

### ■ 九州 地区 参加人数

佐賀県	730人
長崎県	80人
熊本県	1,650人
大分県	150人
宮崎県	445人
沖縄県	400人

### ■ 中国・四国 地区 参加人数

鳥取県	1,002人
島根県	633人
岡山県	265人
山口県	5,160人
徳島県	41人
香川県	380人
愛媛県	445人
高知県	880人

### ■ 東海・北陸 地区 参加人数

富山県	740人
石川県	4,877人
福井県	80人
岐阜県	290人
静岡県	1,448人
愛知県	300人
三重県	1,521人

全国本部 ..... 参加人数350人

# 12 健康・介護ほっとライン

ずっと健康であるために

健康・介護ほっとラインは、これまで  
5万人以上の方にご活用いただいています

健康や介護、育児についての悩みごと、気になることを看護師や介護支援専門員、  
医師、栄養士などが直接電話でお答えする電話相談サービスです。

健康診断の結果等の疑問から、介護・育児についてのお困りのことなど、お気軽に  
ご利用ください。全国どこからでも24時間・365日、無料でご利用いただけます。



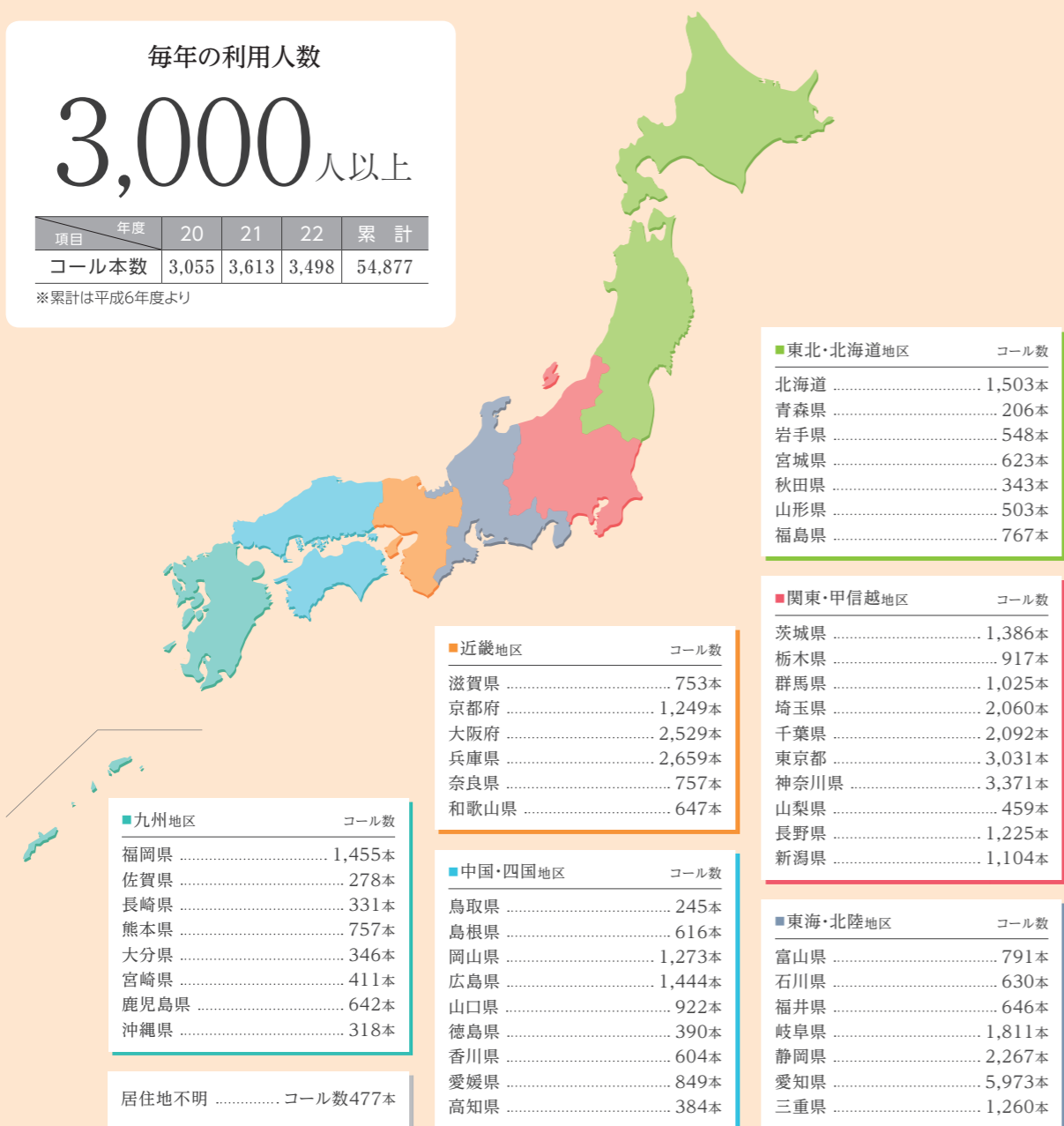
## 「健康・介護ほっとライン」の相談コール本数

毎年の利用人数

3,000人以上

項目	年度	20	21	22	累計
コール本数		3,055	3,613	3,498	54,877

※累計は平成6年度より



# 13 健康診断・人間ドック助成

ずっと健康であるために

健康を願う方々のお手伝い  
毎年たくさんの方々に助成しています

JA共済では、高まる健康意識に添えて、健康管理・増進を目的としたさまざま  
な福祉活動を行っています。共済加入者とそのご家族には、健康管理・維持  
のために、健康管理に不可欠な各種の健康診断や人間ドック受診の助成を  
行っています。



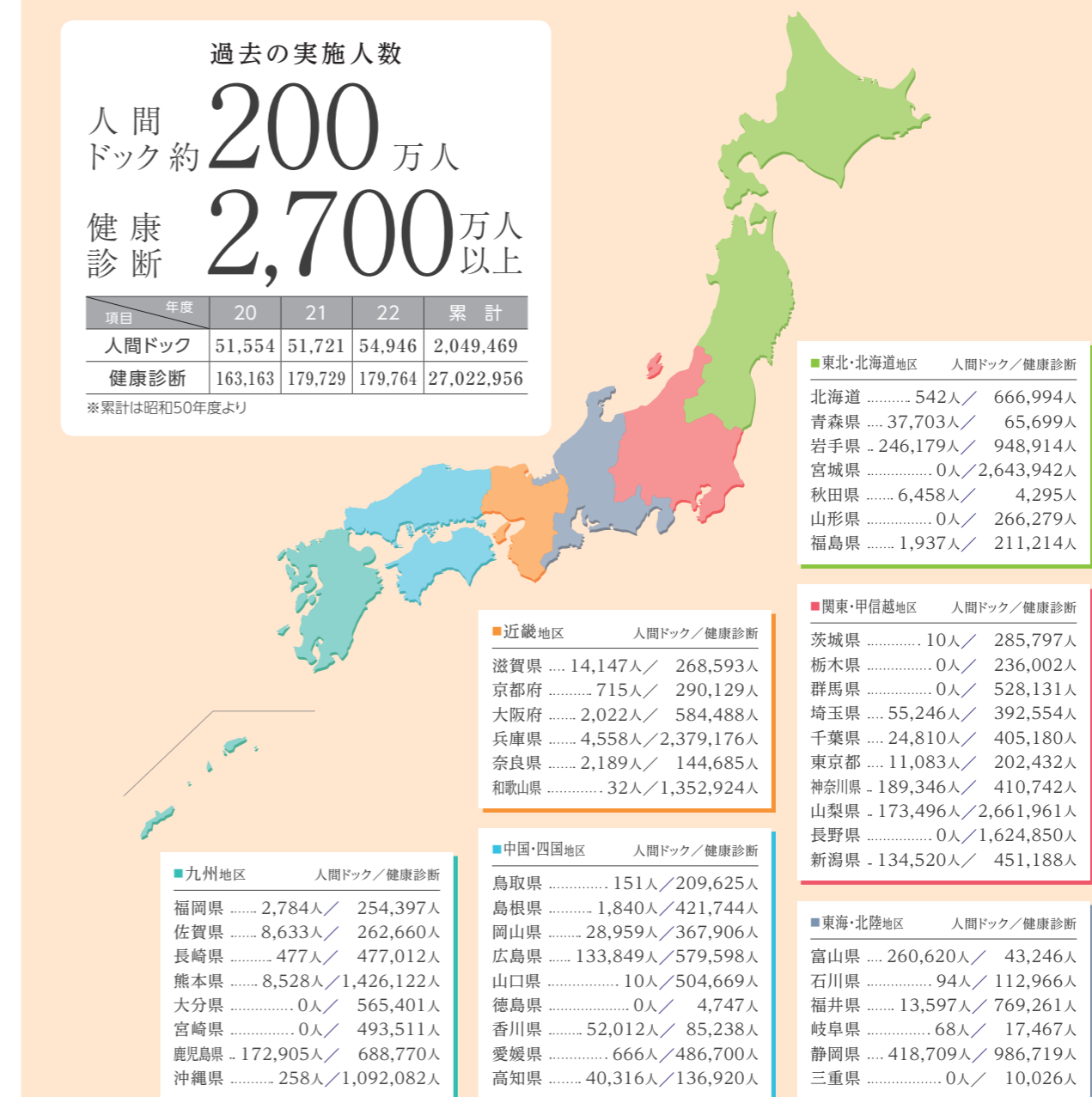
## 「人間ドック・健康診断」の実施規模

過去の実施人数

人間ドック約 200万人  
健康診断 2,700万人以上

項目	年度	20	21	22	累計
人間ドック		51,554	51,721	54,946	2,049,469
健康診断		163,163	179,729	179,764	27,022,956

※累計は昭和50年度より



# 14 介護福祉士奨学金助成

いつまでも安心して暮らすために

介護福祉士をめざして通学や通信教育で勉強する方に奨学金を助成しています

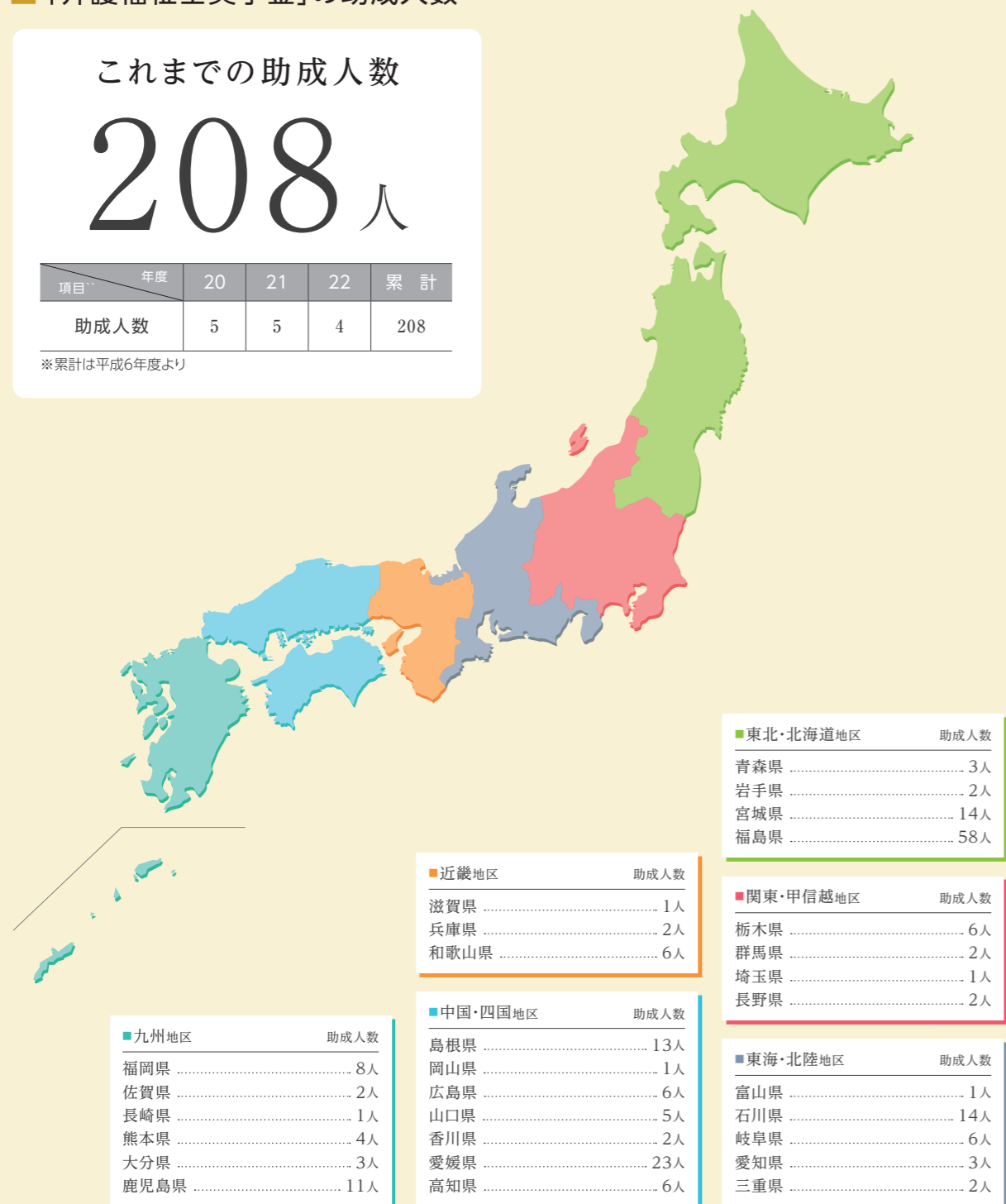
## 「介護福祉士奨学金」の助成人数

これまでの助成人数

# 208人

項目	年度	20	21	22	累計
助成人数		5	5	4	208

※累計は平成6年度より



# 15 身体障害者ホームヘルパー・介護職員養成助成

いつまでも安心して暮らすために

身体障害者ホームヘルパー・介護職員養成研修会を終了した方に研修費用を助成しています

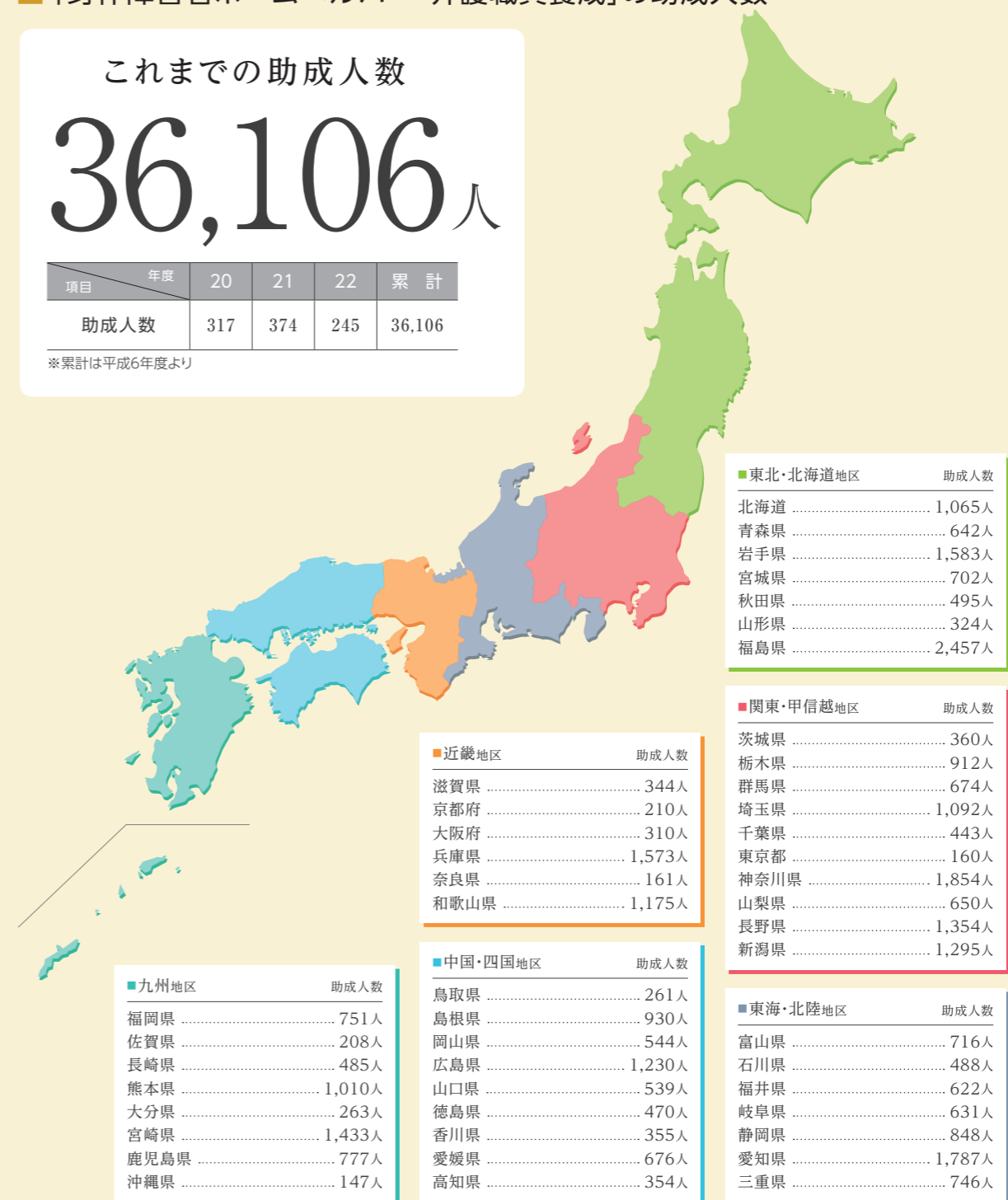
## 「身体障害者ホームヘルパー・介護職員養成」の助成人数

これまでの助成人数

# 36,106人

項目	年度	20	21	22	累計
助成人数		317	374	245	36,106

※累計は平成6年度より



# 在宅介護施設建設資金助成

JAが在宅介護施設を設置する場合の建設資金を助成しています

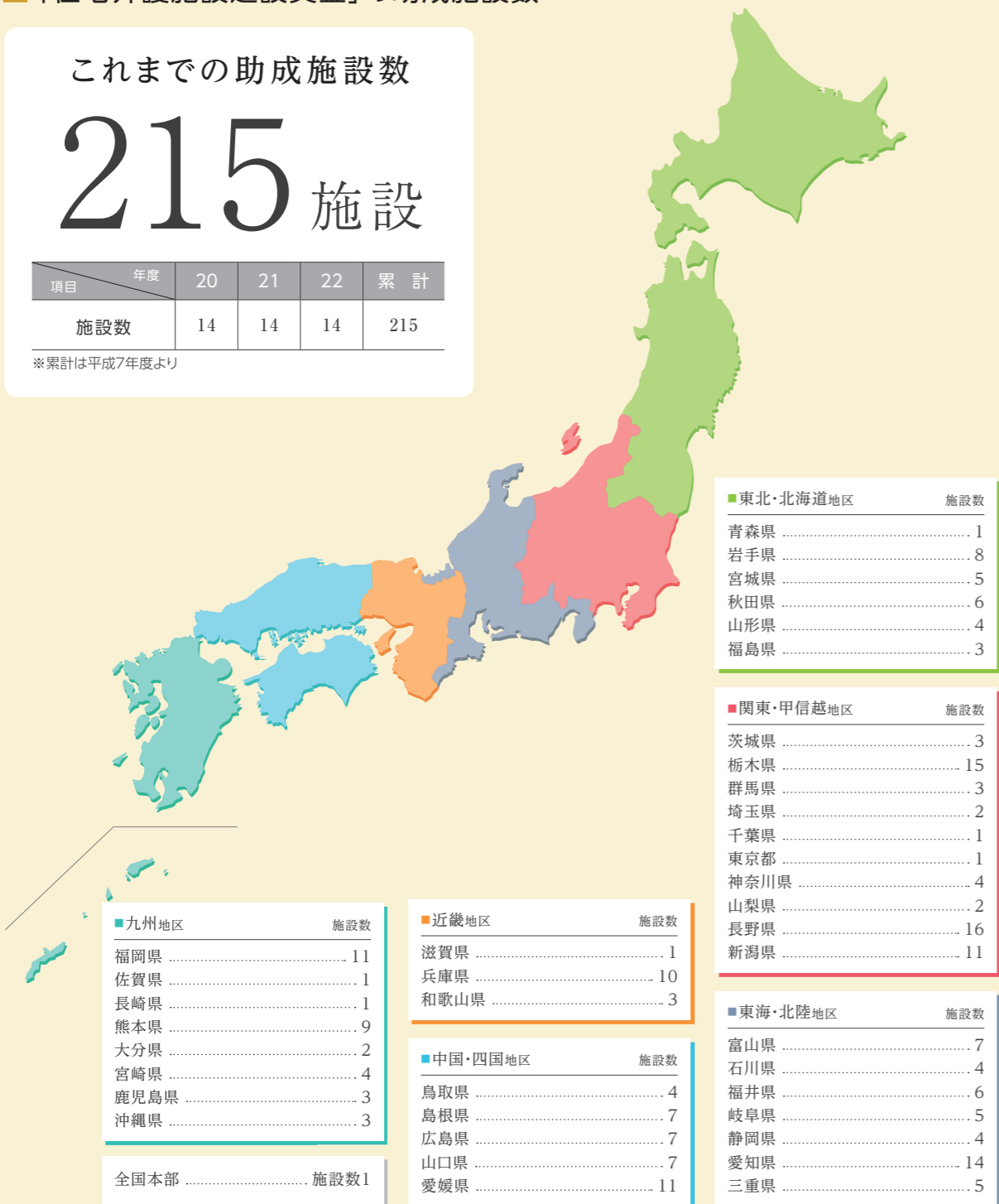
## 「在宅介護施設建設資金」の助成施設数

これまでの助成施設数

# 215 施設

項目	年度	20	21	22	累計
施設数		14	14	14	215

※累計は平成7年度より



# 介護機器等購入費用助成

JAが在宅サービスを実施するために介護機器等を購入する際の費用を助成しています

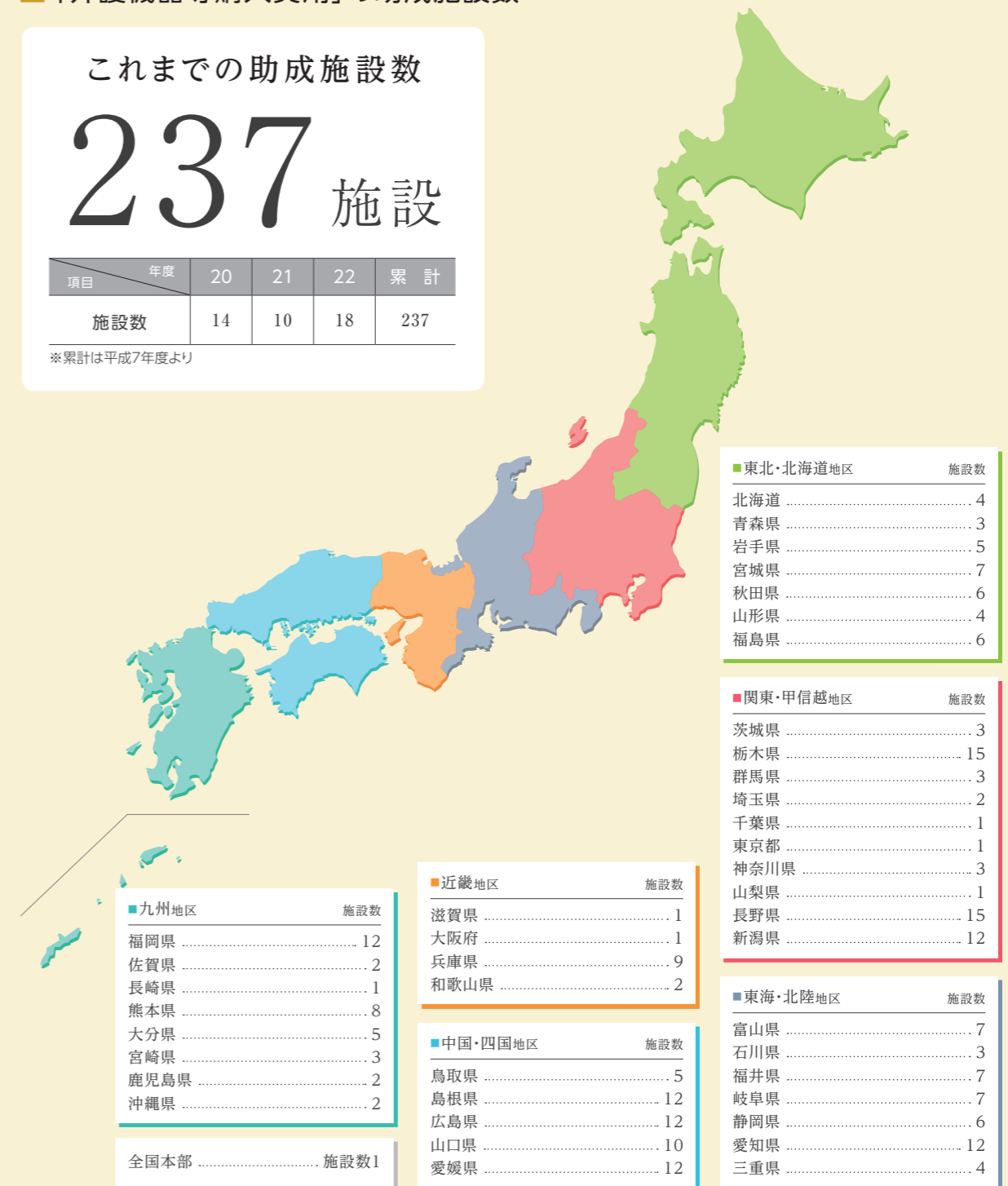
## 「介護機器等購入費用」の助成施設数

これまでの助成施設数

# 237 施設

項目	年度	20	21	22	累計
施設数		14	10	18	237

※累計は平成7年度より



# 高齢者集団保養検診

JA共済では、農村の高齢化の進展にともない、高齢者を対象に、保養施設などを利用して保養しながら健康診断を受ける高齢者集団保養検診を実施しています

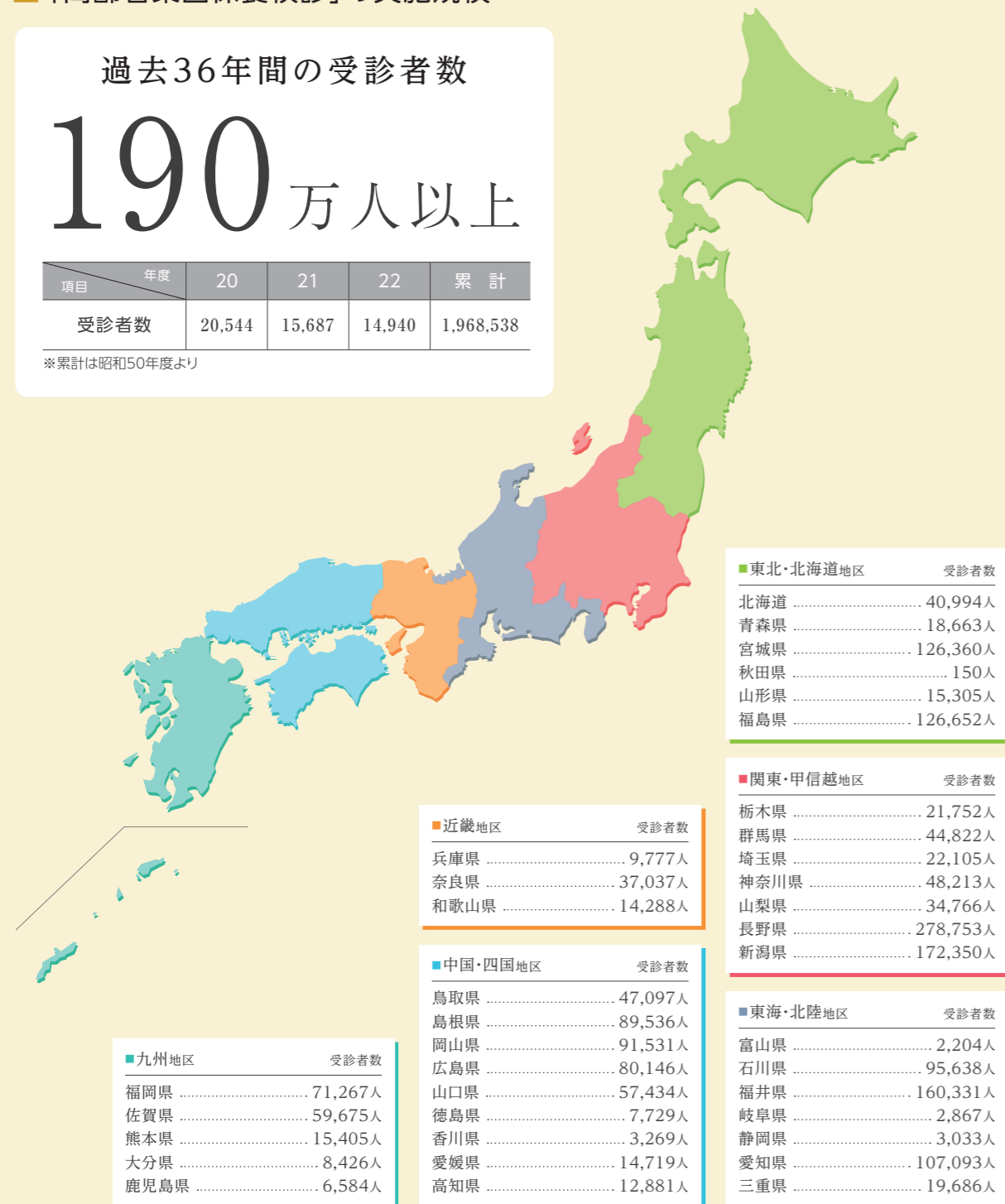
## 「高齢者集団保養検診」の実施規模

過去36年間の受診者数

190万人以上

項目	年度	20	21	22	累計
受診者数		20,544	15,687	14,940	1,968,538

※累計は昭和50年度より



# 宿泊保養施設運営

JA共済グループでは、「契約者サービス」および「組合員に対する健康管理・増進活動への支援機能」として、宿泊保養施設を運営しています

## 宿泊保養施設一覧



※ 3 4 10 の3施設は、JA共済連の子会社以外の関係団体が運営している施設です。

# 仮設住宅・災害シート

## 共済金のお支払いのほかに 災害にあわれた方々への支援に取り組んでいます

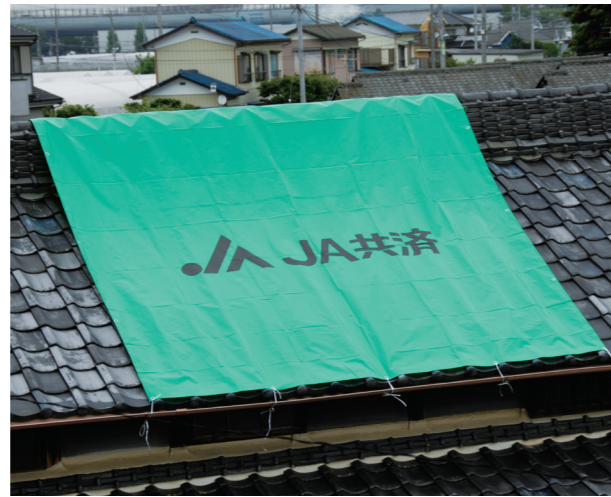
JA共済のご契約者のお住まいが、台風などの自然災害や火災等で壊れて住めなくなってしまうときに「仮設住宅」を8カ月間無償でお貸ししたり、台風などの自然災害で壊れてしまったときに「災害シート」を無償でお配りするサービスを提供しています。これらのサービスを通じて、ご契約者とそのご家族の災害からの生活の立て直しをサポートしています。



### ■ JA共済仮設住宅貸与サービス

仮設住宅を8カ月間無償でお貸しするサービスです。住宅だけでなくキッチン、トイレ、お風呂など暮らしに必要な生活用具をあらかじめ備えています。

※国や自治体が主体となって被災者救済を行う地震や台風などの大規模災害の場合には、対応できないことがあります。  
※JA共済のご契約者で一定の要件を満たす方に限ります。



### ■ JA共済災害シートサービス

大規模災害時等にJA共済災害シートを無償でお配りするサービスです。  
(大きさ:3.6m×5.4m(12畳))

### ■ 「災害シート」の配布枚数

これまでの  
配布枚数 **15万枚以上**

項目	年度	20	21	22	累計
災害シート		3,460	8,246	82,699	151,837

※累計は平成16年度より

### ■ 「災害シート」の主な配布状況

年度	主な配布状況
19年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>能登半島地震：1,570枚</li> <li>新潟県中越沖地震：4,550枚</li> </ul>
20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手・宮城内陸地震：2,660枚</li> <li>岩手県沿岸北部地震：510枚</li> </ul>
21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風9号：3,600枚</li> <li>駿河湾地震：1,090枚</li> </ul>
22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災：93,640枚 (平成23年7月現在)</li> </ul>

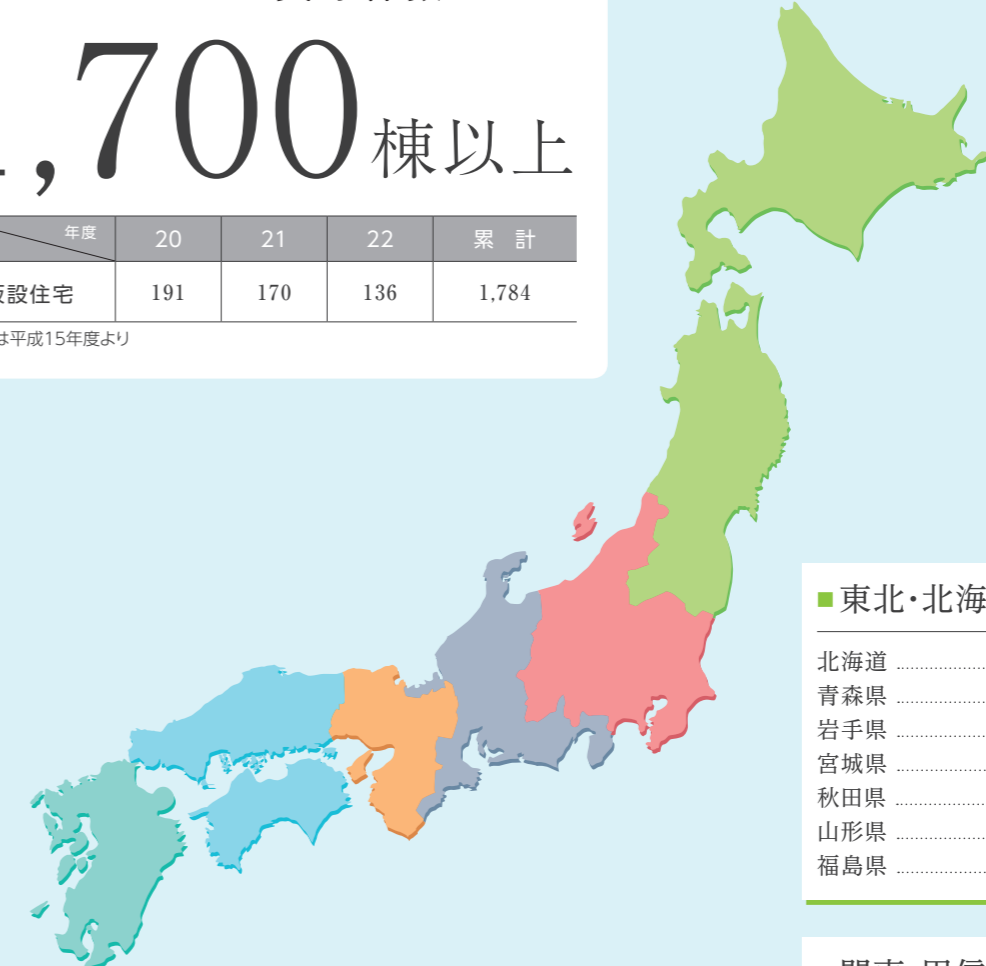
### ■ 「仮設住宅」の貸与棟数

これまでの貸与棟数

**1,700棟以上**

項目	年度	20	21	22	累計
仮設住宅		191	170	136	1,784

※累計は平成15年度より



### ■ 東北・北海道 地区 貸与棟数

北海道	22棟
青森県	29棟
岩手県	83棟
宮城県	227棟
秋田県	15棟
山形県	30棟
福島県	110棟

### ■ 関東・甲信越 地区 貸与棟数

茨城県	69棟
栃木県	52棟
群馬県	72棟
埼玉県	71棟
千葉県	81棟
東京都	4棟
神奈川県	2棟
山梨県	10棟
長野県	70棟
新潟県	41棟

### ■ 近畿 地区 貸与棟数

滋賀県	8棟
京都府	1棟
兵庫県	19棟
奈良県	2棟
和歌山県	3棟

### ■ 中国・四国 地区 貸与棟数

鳥取県	10棟
島根県	44棟
岡山県	15棟
広島県	2棟
山口県	34棟
徳島県	15棟
香川県	31棟
愛媛県	16棟
高知県	31棟

### ■ 九州 地区 貸与棟数

福岡県	20棟
佐賀県	77棟
長崎県	39棟
熊本県	48棟
大分県	22棟
宮崎県	66棟
鹿児島県	132棟

### ■ 東海・北陸 地区 貸与棟数

富山県	34棟
石川県	14棟
福井県	16棟
岐阜県	25棟
静岡県	34棟
愛知県	16棟
三重県	22棟

# 「書道」「交通安全ポスター」コンクール

立派な作品がたくさん寄せられ  
日本でも最大規模のコンクールになっています

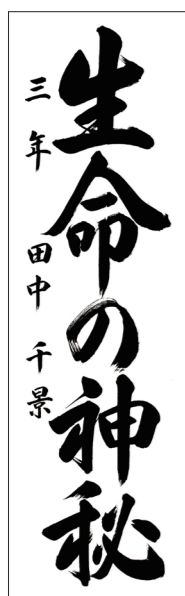
JA共済では、心の豊かさ、地域社会との絆づくりを大切にするとともに、JA共済の理念である助け合いの精神を次世代に伝えるため、小・中学生書道・交通安全ポスターのコンクールを実施しています。



© 2006 JA-KYOSAI

## JA共済全国小・中学生書道コンクール

小・中学生の皆さんを対象にした全国規模の書道コンクールです。共済事業の「相互扶助・思いやりの精神」を次代に伝えていくこと、そして児童・生徒の書写教育に貢献することを目的に書道コンクールを実施しています。毎回、大人も顔負けの力作が集まります。



農林水産大臣賞  
田中 千景さん(佐賀県・中学3年)



文部科学大臣奨励賞  
佐藤 真波さん(千葉県・小学3年)



農林水産大臣賞  
小園 健太さん(大阪府・小学1年)



文部科学大臣奨励賞  
深ヶ迫 真衣さん(島根県・小学6年)

## JA共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクール

小・中学生の皆さんを対象にした交通安全ポスターコンクールです。図画工作・美術教育の発展と、交通安全の大切さを幅広く社会に訴えることを目的に交通安全ポスターコンクールを実施しています。子どもたちの願いが書き込められた作品は、心にひびく秀作ぞろいです。



内閣府特命担当大臣賞  
笹谷 直央さん(石川県・中学2年)



農林水産大臣賞  
山崎 祐輔さん(鹿児島県・小学5年)



警察庁長官賞  
小林 裕子さん(岡山県・小学6年)



文部科学大臣奨励賞  
窪田 創さん(岩手県・小学3年)

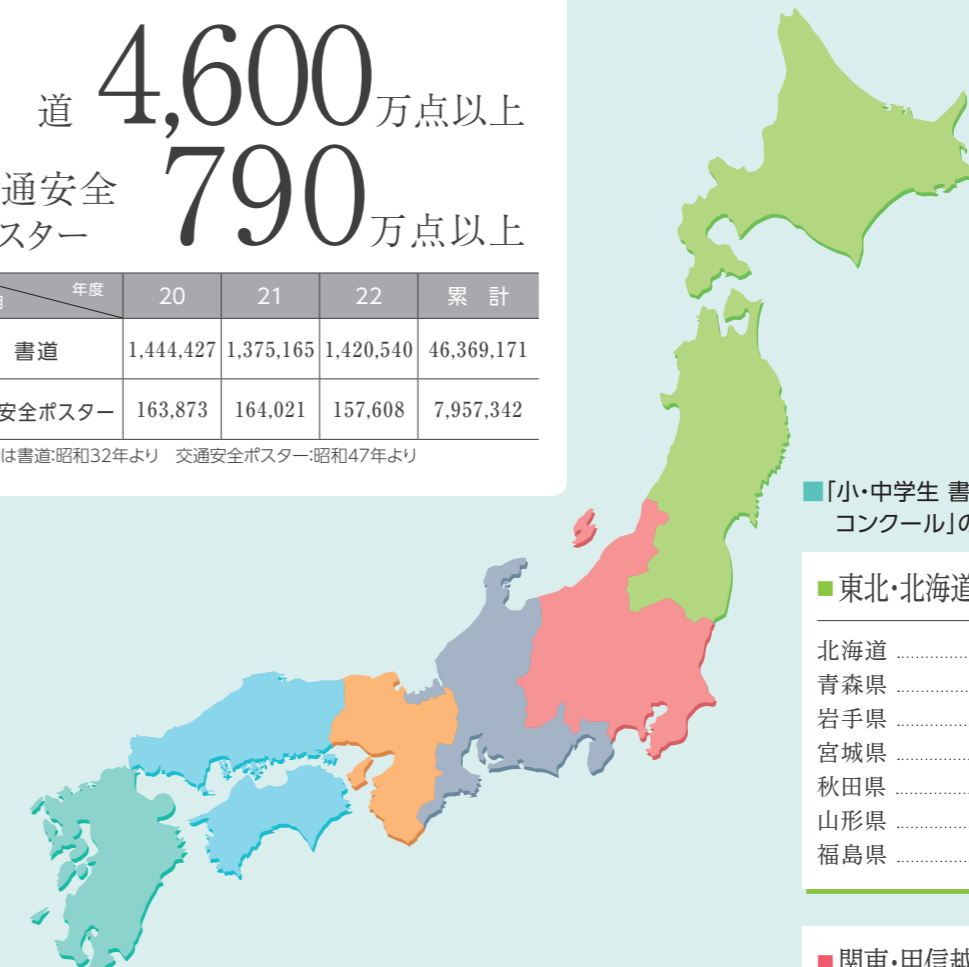
## 「小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール」応募点数

これまでの応募点数

書道 4,600万点以上  
交通安全ポスター 790万点以上

項目	年度	20	21	22	累計
書道		1,444,427	1,375,165	1,420,540	46,369,171
交通安全ポスター		163,873	164,021	157,608	7,957,342

※累計は書道:昭和32年より 交通安全ポスター:昭和47年より



### 「小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール」の応募点数(平成22年度)

■東北・北海道 地区 書道/ポスター応募点数

北海道	98点/4,081点
青森県	12,427点/ 571点
岩手県	1,383点/1,247点
宮城県	5,096点/ 805点
秋田県	97点/ 468点
山形県	1,060点/ 18点
福島県	5,580点/2,200点

■関東・甲信越 地区 書道/ポスター応募点数

茨城県	109,108点/ 66点
栃木県	2,624点/1,341点
群馬県	77,875点/8,632点
埼玉県	52,144点/ 16点
千葉県	53,483点/6,686点
東京都	5,360点/ 5点
神奈川県	3,098点/ 4点
山梨県	21,669点/2,577点
長野県	39,692点/4,626点
新潟県	2点/ 981点

■近畿 地区 書道/ポスター応募点数

滋賀県	8,454点/ 2点
京都府	9,888点/ 889点
大阪府	69,921点/ 12点
兵庫県	96,990点/ 180点
奈良県	40,795点/ 1点
和歌山県	9,279点/2,008点

■九州 地区 書道/ポスター応募点数

福岡県	8点/ 0点
佐賀県	26,297点/7,189点
長崎県	85,136点/ 0点
熊本県	23,347点/2,231点
大分県	15,938点/1,934点
宮崎県	62,094点/ 0点
鹿児島県	32,816点/2,559点
沖縄県	28,379点/2,406点

■中国・四国 地区 書道/ポスター応募点数

鳥取県	6,345点/ 563点
島根県	4,454点/ 721点
岡山県	20,357点/3,761点
広島県	49,281点/7,973点
山口県	33,930点/ 7点
徳島県	33,388点/5,484点
香川県	3,828点/ 1点
愛媛県	39,024点/4,027点
高知県	5,413点/ 292点

■東海・北陸 地区 書道/ポスター応募点数

富山県	27,333点/ 0点
石川県	6,607点/ 308点
福井県	10,426点/ 1点
岐阜県	27,679点/ 3,528点
静岡県	87,352点/ 7,941点
愛知県	130,454点/64,454点
三重県	34,531点/ 4,812点

# 22 CO<sub>2</sub>削減への取り組み

地球環境を守るために

## 地球温暖化防止のための新たな「国民運動」 「チャレンジ25」に取り組んでいます

2005年2月16日に「京都議定書」が発効し、日本は2008年から2012年の間にCO<sub>2</sub>などの温室効果ガス排出量を1990年に比べて6%削減することが義務づけられ、さまざまな対策を進めてきました。2009年9月、ニューヨークの国連気候変動サミットにおいて、我が国の目標として、温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比で25%削減することが表明されました。「チャレンジ25キャンペーン」は、これまでの地球温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」から、よりCO<sub>2</sub>削減に向けた運動へと生まれ変わり展開するものです。JA共済でもこの運動に参加して、全職員・職場で運動に取り組み、また組合員の方や地域の方々へのPR活動を展開していきます。



[http://www.challenge25.go.jp/about/about\\_c25/index.html](http://www.challenge25.go.jp/about/about_c25/index.html)



### ■チャレンジ25キャンペーンが推進する6つのチャレンジ

<b>Challenge1</b> ーエコな生活スタイルを選択しようー たとえば、クールビズ、ウォームビズ、MYバッグ、… etc. あなたもきつと、温暖化防止のECOアクションをはじめませんか? 出かける際はバスや電車、自転車など環境に優しい交通機関を利用しよう ☆☆☆	<b>Challenge2</b> ー省エネ製品を選択しようー 購入時に迷ったときは、より「エネルギー効率の高い製品」を選択!これが温暖化防止「チャレンジ」たちの新常識です。 白熱電球を電球型蛍光灯やLED照明へ買い替えよう ☆☆☆	<b>Challenge3</b> ー自然を利用したエネルギーを選択しようー 太陽。風。水。 自然界に存在する力を利用することは、温暖化をとめる方法の一つです。 太陽光発電を新しく設置しよう ☆☆☆
<b>Challenge4</b> ービル・住宅のエコ化を選択しようー 心地よい快適な空間をつくることは、実はエコなんて?! そんな夢のような温暖化をとめる方法があるって、ご存知ですか? 最新の省エネ基準を満たす断熱材やエコガラスを取り入れよう ☆☆☆	<b>Challenge5</b> ーCO <sub>2</sub> 削減につながる取組を応援しようー CO <sub>2</sub> 削減につながる、様々な社会の取組を知ってください。そしてこの温暖化防止の心強い取組を、応援してください。 地産地消の商品を選択しよう ☆	<b>Challenge6</b> ー地域で取組む温暖化防止活動に参加しようー 温暖化は一人の問題ではなく、この地球に住む私たち「みんなの問題」。仲間や地域の人たちとともに、温暖化防止にチャレンジしましょう。 地域の環境イベントに積極的に参加しよう ☆

### 食から健康・農業・環境を考える

#### ■「みんなのよい食プロジェクト」

日本の農家とJAグループ、そして皆さまと一緒に「よい食」について考え、行動するプロジェクトです。 <http://www.yoi-shoku.jp/>

#### 「よい食」を実行する 4つのポイント

- 健康な体について考えよう! まずは「どうしたら健康になれるのか」を考えることが、「よい食」への第一歩です。
- 産地の自然環境を見つめよう! 地球温暖化などが原因で、世界中の農作物が打撃を受けている現在、環境を守ることが、農業にとって重要になっています。
- 地産地消に取り組もう! 栄養価も高く体にもよい、地元産の新鮮な野菜やお肉。また輸送コストも削減できるので、環境にもやさしい取り組みです。
- 自分の「よい食」宣言をしよう! 「残さず食べる」「国産野菜を食べる」など、よい食を実行するための宣言をしましょう。

### 地産地消に取り組み、食品の輸送距離を減らせば、CO<sub>2</sub>も減らせます

#### ■フードマイレージ

<http://www.food-mileage.com/>

フードマイレージは「CO<sub>2</sub>100グラム=1poco(ポコ)」と定めた、食べものの輸送距離に基づく単位です。輸送距離が短いとCO<sub>2</sub>の排出量は少なくなるため、意識して国産食材を選ぶことは地球温暖化防止にもつながるエコ活動になります。

比べてみよう! CO <sub>2</sub> 排出量			
	国産食材	輸入食材	CO <sub>2</sub> 排出量の差
食パン1斤	0.2	1	0.8
アスパラガス1本	0.04	5.34	5.3

単位:poco

# 23 リボンキャンペーン

地球環境を守るために

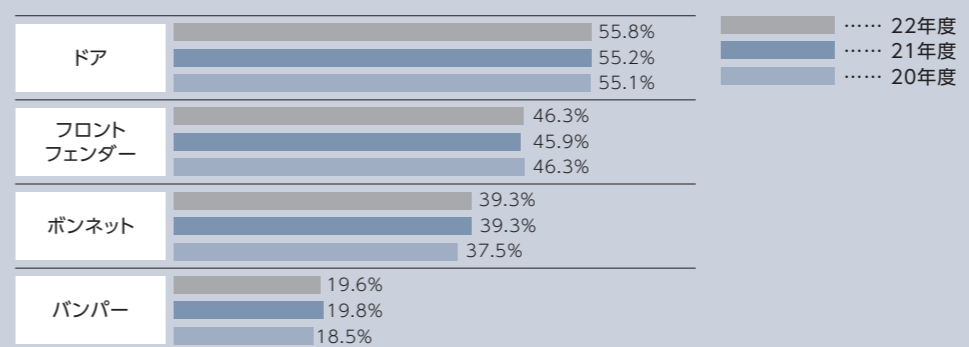
## クルマの部品補修&リサイクルのためのリボンキャンペーンを実施しています

産業廃棄物が大きな問題となっています。JA共済では資源の有効活用や地球環境保護の観点から「補修できるものはなおして使い、補修できないものはリサイクル部品を使用する」という運動に丸となって取り組んでいます。

JA共済では資源の有効活用と地球環境保護を目的とした運動を「リボンキャンペーン」と名づけ、毎年実施しています。この運動では、事故の修理時ばかりではなく、広く一般的な修理や車検の時にも、クルマの損害箇所については新品と交換せずに、補修したりリサイクル部品を使っただけのよう啓発活動を行っています。JA自動車共済の年間の共済金支払件数は約65万件、共済金支払総額(車両・対物合計)は1,416億円にも達しています。補修や、リサイクルを活用することは、組合員・利用者の皆さまに今後も安い掛金で安心して加入していただくためにも有効なことです。

クルマの修理箇所を新品に交換するのではなく、補修やリサイクル部品で対応する。修理時に発生する廃棄物やCO<sub>2</sub>排出量を減らすことによる環境への配慮をJA共済は推進しています。「もしも」の事故時の保障はもちろん、環境にやさしい資源の有効活用まで。クルマ社会をトータルに考え、サポートし続ける私たちJA共済の取組みです。

### ■補修率の推移(年度計)





# 堀田 力

Tsutomu Hotta  
(弁護士・さわやか福祉財団理事長)

**農**業が、社会とのかかわりの中でしか成り立たないのと同様に、JA共済も、JAの中だけの共済では、目的を達成できないのだと思います。

その意味で、JA共済が、共済事業と車の両輪をなす事業として、多彩な地域貢献活動を展開しておられることは、素晴らしいことと感服しています。

組合員や利用者の方々も、自分や家族の生活について安心感を得ると共に、地域の中で、地域の方々につながって生きる喜びや楽しさが実感できるでしょう。そして、そういうつながりをつくり出しているJA共済を、誇らしく思うことでしょう。

さて、2011年3月11日に起きた東日本大震災は、日本に住むすべての人々の生き方、考え方の根っこのところに強い衝撃を与えました。被災していない

## 大震災を経験した今、 2010年の活動の意味は大きい

場所に住む人たちも、一方では自分の暮らしを見直しながら、他の人々を思いやり、絆を大切にするようになりました。これまで大丈夫だと思って信頼してきたいろいろなものが、そうとは言い切れないとわかり、うまく説明できない不安な気分をぬぐい去れなくなっています。その分、人とのつながりのあたたかさ、頼もしさが、身にしみるようになったのです。

被災した方々は、なおさらのことでしょう。

大震災のように異常な事態が起きた時には、平常時のあり方が問われることになります。

JA共済が、共済事業で家族の安心を、そして地域貢献活動で地域の絆をつくり上げてきた地域の方々は、不幸にして大震災の被害に遭遇したとしても、

家族の安心と地域の絆とを、ひとしお強く、大きく、実感されていることでしょう。

逆に、平素JA共済の活動が必ずしも十分に浸透していなかったところがあるとすれば、その地域の方々の中には、底なしの喪失感と孤独を抱える方が出ているのかもしれません。

2010年度のJA共済の活動は、そのまま、現在につながっているのです。2010年にしっかり成果を出したことの意味の大きさに、思いを致してほしいと願っています。

### 堀田 力【ほったつとむ】

1934年京都府生まれ。61年検事任官。東京地検特捜部検事、法務大臣官房長を歴任後91年に退職。現在は「新しいふれあい社会の創造」を旗印に東日本大震災の復興支援に力を注いでいる。

# Information

全国の各都道府県において、地元に着したさまざまな地域貢献活動を行っています。

## 安全・安心で、豊かな暮らしを。地域における交通事故特別対策「地域の安全・安心プロジェクト」

都市部と比べ交通事故が少ない農村地域では、都市部ほどの交通事故対策が行われていない状況にあります。このため、地域に根ざしたJA共済が、地元の警察や交通安全協会などと連携し、地域ご

とに必要な有効な交通事故特別対策を実施することにより、安全・安心な地域づくりに貢献します。

また、取り組みや主旨の理解促進、農村地域の実態等を広く知らしめる取り組みも行っています。

### 「地域の安全・安心プロジェクト」における主な取り組み

安全な地域づくり 交通事故のない	交通事故防止	地域における交通安全インフラ整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バトカーの寄贈</li> <li>● カーブミラーの設置</li> <li>● 反射材の配布</li> </ul>
		地域の交通安全意識を高める取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テレビ・ラジオ・新聞等を活用した交通安全意識を高める取り組み</li> <li>● 交通安全教育指導</li> </ul>
暮らしやすい地域づくり 交通事故被害者が安心して暮らせる	救急医療体制の確保	交通事故現場での救急救命措置向上の取り組み	● AEDの設置
		救急搬送体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 救急車の整備</li> <li>● ドクターヘリの運営支援</li> </ul>
		地域における救急救命率向上の取り組み	● 救急医療施設の整備・管理運営支援
	自動車事故被害者対策	交通事故による身障者等の社会復帰の促進支援	● 介護施設の整備・運営支援
交通事故被害者の生活支援		● 地域の交通事故被害者支援団体への支援	



北海道本部

## 支笏湖畔の国有林で植樹活動を実施

北海道本部では、サッカーJ2・コンサドーレ札幌を運営する北海道フットボールクラブが取り組む「コンサ百年の森づくり」に賛同し、平成22年10月10日、職員25名が参加して支笏湖畔近くの「コンサの森」(千歳市)で植樹活動を実施しました。「コンサ百年の森づくり」を展開する北海道フットボールクラブは、平成19年9月に、JAグループ北海道と食育を柱とした相互協力協定を締結しており、コンサドーレ札幌の選手たちが野菜の種まきを行う「コンサ・土・農園(コンサ・ド・ファーム)」の開設や、「JAスポーツセミナー サッカー&食育教室」の開催など、食とスポーツを融合した地域貢献活動を道内で実施しています。

今回の「コンサ百年の森づくり」は、平成16年9月の台風で甚大な風倒被害を受けた支笏湖周辺の国有林を再生するため、平成20年6月にスタートしました。「コンサの森」と名づけられた11.63ヘクタールの森林には、これまでに5,400本の樹木が植えられ、今回、最後の区画3.39ヘクタールの

植樹が行われました。あいにく冷たい雨が降る天気となりましたが、北海道本部の職員のほか、他企業やコンサドーレ札幌のサポーターなど約100名が参加し、JAグループ北海道が事前に寄贈したトドマツの苗木1,000本を含む計2,300本の苗木を植樹しました。

参加した職員からは、「慣れない作業で大変だったが、失われた森を復興する環境保全活動に参画したことは、とても意義ある活動だった」といった感想が寄せられました。北海道本部では、今後とも地域に役立つボランティア活動に積極的に参加し、より一層、地域貢献活動に尽力したいと考えています。



福島県本部

## ふくしまの交通事故をゼロに!! JAグループ統一交通安全キャンペーンの実施

福島県本部では、平成22年4月より交通事故のない安全な地域をつくるため「JA共済交通事故撲滅キャンペーン10アクション」に取り組んでいます。この一環として制作した広告が、人に行動を起こさせるための必要な要素が全面に出ている点が評価され「平成22年度福島民報広告大賞金賞」を受賞しました。

この取り組みに加えてJA共済連福島・JAグループ福島では、今年で19年目を迎える交通安全啓発街頭活動を行いました。平成22年9月2日に県内JA役員総勢約500名にて各JA事務所前や給油所、交通量の多いJR駅前など県内約120か所において、交通安全のぼり旗を掲げ啓発用ノベルティを配布し、「交通事故ゼロ」を訴えました。

そのうち、JR福島駅前ではJAグループ福島・地元JA新ふくしまの職員、さらにテレビュー福島のマスコット「ロッキン」も参加して交通安全を呼びかけました。

福島県本部ではこれからも地域社会にメッセージを発信していきます。



ロッキンも参加してのJR福島駅前での街頭活動 「10アクション」広告

石川県  
本部

## 「Save the Sea!!」 みんなの大切な海をきれいにしよう 「クリーンビーチ・いしかわ」に参加!!

石川県本部では、石川の海岸線をきれいにする「クリーンビーチ・いしかわ」に協賛して、平成22年5月30日に由田本部長をはじめ共済連職員40名が海岸清掃に参加しました。JAグループ石川では地域貢献活動の一環として113名が参加し、早朝よりたくさんの人とともにごみの収集作業に汗を流しました。

「クリーンビーチ・いしかわ」は県内の海岸線583キロを清掃することによって、美しい石川の渚を取り戻そうという活動です。この活動を通して、「白砂青松をよみがえらせる基盤・野鳥や海の生き物を残酷な被害から守るための環境・沿岸漁業資源の回復が良好で豊かな海」をつくることを目指しています。

この活動には小さな子どもたちも参加しており、海岸

がきれいになっていくことへの喜びを感じているようでした。

このような小さな活動を積み重ねることで、身近な環境が守られ、さらにその輪を広げていくことによって地球規模の環境を守っていくことにつながっていきます。

石川県本部では小さな輪を大きな輪にできるよう、これからも積極的に地域社会に貢献できる活動を行っています。



JAグループ石川を含む  
たくさんの人が参加

三重県  
本部

## 「JA共済カップ 三重県少年サッカー大会(U-11)2010」を 開催しました

三重県本部では、平成20年度より「JA共済カップ 三重県少年サッカー大会(U-11)」を開催しています。この大会は、次世代層および地域住民とのつながりを強化し、JA共済のイメージアップを図ることを目的とした、県内の小学5年生以下対象の少年サッカー大会です。

第3回大会となる22年度は、県下14会場・

参加128チームで平成22年5月23日に予選が始まり、2次・3次予選が行われ、7月4日には勝ちあがった強豪8チームによる決勝トーナメントが行われました。決勝トーナメントでは、ドリブル突破や選手の激しいぶつかり合いなどで白熱した試合が繰り広げられ、ゴールのたびに家族の大歓声が飛び交って、会場は大いに盛り上がりました。決勝戦では、白熱した延長戦の末「名張フットボールクラブテコス」が見事優勝の栄冠を勝ち取り、優勝チームの選手らには、大きな優勝カップと金メダルならびに副賞(応援テント、お米など)が授与され、選手らは優勝の喜びをかみしめていました。



和歌山県  
本部

## 第6回 JA共済旗 学童軟式野球大会を開催!!

和歌山県本部では、第6回JA共済旗学童軟式野球大会を開催しました。

これは組合員だけでなく広く地域住民、特に若年層を中心にJA共済をPRし、イメージアップを図ることを目的とするものであり、平成22年11月20日、21日の県大会(くろしおスタジアム他)には県内8支部での支部予選を勝ち抜いた16チーム(各支部予選の優勝・準優勝チーム)が勢ぞろいし、熱戦が繰り広げられました。

21日の決勝戦では同じ和歌山市支部代表である「名草少年野球団」と「新南大新ファミリーズ」が対戦。手に汗握る接戦の末に「新南大新ファミリーズ」が6-5で「名草少年野球団」を破り、優勝しま

した。今後も、同大会の定着を通じて、次世代との関係を強化していくとともに、地域との絆づくりに取り組んでいきます。



岡山県  
本部

## 私たちの大切な岡山をきれいにしよう

岡山県本部は、平成23年3月11日にサッカーJ2のファジアーノ岡山と協力して、JR岡山駅西口からファジアーノ岡山の本拠地カンコースタジアムまでの通称「FAGIroad」約1.5kmを清掃しました。

県内外から訪れるサポーターに気持ち良く同スタジアムへ向かってもらおうと、地域貢献活動の一環として岡山県本部が企画したものです。

当日は、緑のそろいのジャンパーを着用した職員と、ファジアーノ岡山のスタッフ計約60人で路上や植え込みの中の落ち葉、たばこの吸い殻、空き缶などのゴミ拾いをしました。また、清掃活動を行っていくなかで、地域住民の方から「ありがとう」の声を多くいただき、参加者一同この活動の意義を十分感じました。

地域の皆さまとともに成長してきたJA共済は、これからも地域社会に貢献できる活動を積極的に行っていきます。



清掃活動に  
取り組む職員

集まったゴミ

福岡県本部

『書いてみようよ 心のふるさと』  
第46回『JA共済』小・中学生作文コンクール表彰式

福岡県本部では、次世代を担う後継者の健全な育成と地域社会の発展を目的に、児童・生徒の創造力を豊かにし、情操教育の一助とするため、小・中学生作文コンクールを実施し、平成22年度で46回目を迎えます。

平成22年度は、総計136,477点の応募があり、そのうち学校から推薦された、12,447点を2日間にわたり42名の審査員で審査し、平成23年2月19日都久志会館にて表彰式を開催しました。個人賞では、135名、学校賞では、24校の受賞者(校)を表彰し、一人ひとりに賞状を授与しました。

賞状の授与後、小学生1名・中学生1名の最優秀賞県知事賞を受賞した方が作文を朗読。

平成23年度も小・中学生作文コンクールを実施し、次世代を担う子どもたちの個性あふれる豊かな心を守り育むためにも、地域貢献活動に取り組んでいきます。



全国本部

国境を越えた地域貢献活動「きずなチャリティ」

全国本部では、家庭で使われなくなった衣類やランドセル、玩具などを持ち寄り、NGO(非政府組織)や福祉団体を通じて、アフリカの難民キャンプをはじめ物資を必要としている各地域に寄贈する、リサイクルと地域貢献活動を兼ねた「きずなチャリティ」を平成21年度から実施しています。平成22年度においては、平成23年1月25日に役職員78名が参加し、支援物資の梱包作業を行いました。

支援物資は、衣料品約2,300点、使用済み切手

約6,100点、文房具・ランドセル・カレンダー等950点など、合計11,000点以上、ダンボール257箱もの寄贈品が集まりました。

また、これらを海外に輸送するための募金活動も行い、46万4,573円の寄付金が集まりました。

衣料品・文具等は、NGO団体マザーランド・アカデミー・インターナショナルを通じ、西アフリカのマリ共和国や難民キャンプ等、使用済み切手は、日本キリスト教海外医療協会を通じ、アジア・アフリカへの海外医療支援、また、ランドセルは、財団法人ジョイセフを通じ、アフガニスタンやモンゴルの子どもの通学用カバンとして役立っています。

全国本部では、JAが理念としている「協同」「相互扶助」の精神を大切にし、助け合い・人と人の絆を大切にしながら、今後も地域貢献活動に積極的に取り組んでいきます。



梱包作業に取り組む職員

ランドセルは青空教室の子どもたち1人ひとりに手渡されます

都道府県独自の地域貢献活動実施概要

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
北海道	記念品贈呈活動	次世代対策助成	組合員およびその直系家族	子どもが誕生した場合と児童が小学校に入学した場合に記念品の贈呈
	交通事故対策活動	交通安全運動街頭キャンペーン	地域住民	交通安全運動週間期間中に、街頭でノベルティを配布し交通安全を通行人に呼びかける
	環境保全活動	コンサ百年の森づくり	県本部職員・地域住民等	平成16年9月の台風で甚大な風倒被害を受けた支笏湖周辺の国有林を再生するため、植樹活動を実施
青森	交通事故対策活動	交通安全運動街頭キャンペーン	地域住民	夏・秋・冬の交通安全運動週間期間中に、街頭でチラシ・ノベルティを配布し交通安全を通行人に呼びかける
	地域防犯活動	JA共済「こども110番の車」	地域の子供達	県本部およびJAの業務車両に「防犯標語」を貼りつけて運行し、事件・事故に遭いそうな子ども達を救助し、警察へ通報する
岩手	健康管理・増進活動	一日人間ドック受診	共済契約者および組合員	生活習慣病の予防と早期発見・早期治療を促進
	文化・スポーツ活動	JA共済児童生徒作品コンクール(作文の部・絵画の部)	県内小・中学生	相互扶助・思いやりの精神を次代に伝えていくとともに、図画や作文教育等に貢献するため、作文・絵画コンクールを実施
宮城	健康管理・増進活動	健康検診	生命共済の加入者で60歳以上の者	「鳴子観光ホテル」「南三陸ホテル観洋」にて健康検診を実施
	交通事故対策活動	交通安全キャンペーン	一般ドライバー	街頭キャンペーン(運転者・歩行者に対する交通ルールとマナーの周知徹底)や広報宣伝(広報車等による広報宣伝活動)を実施
		交通遺児育成奨学金助成	交通遺児	交通遺児を対象に奨学金を助成
文化・スポーツ活動	JA共済少年野球大会	県内小学生	相互扶助の事業理念のもと、主催者・参加者が一体となり、野球大会を通じ地域少年の健全育成と交流を図ることで「人と人の絆」を大切に地域社会作りに貢献する	
秋田	交通事故対策活動	交通安全教室開催助成		JAが関係諸機関・団体と連携して開催
		交通安全ラッピングバス運行		県警とタイアップし3台運行
		ソーシャルクロック設置		県内各地域にソーシャルクロックを提供
	文化・スポーツ活動	次世代対策助成		学童野球大会を開催
山形	交通事故対策活動	カープミラー設置		組合員を交通事故から守り、交通事故の未然防止を目的に市町村に寄贈
		ソーシャルクロック設置		県内各地域にソーシャルクロックを提供
		スポットフラッシュ設置		県内通学路に250ヵ所(500個)設置
		高規格救急車寄贈		広域行政組合を通じて3台寄贈
		交通安全ラッピングバス運行		県警とタイアップし3台運行
		高齢者交通安全教室開催	地域住民	交通安全協会に協賛し開催

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
福島	文化・スポーツ活動	JA共済カップ福島県少年サッカー大会	小学生	交通安全啓発と次世代対策(地元TV局と連携)
	元気高齢者対策活動	元気高齢者対策活動	自立した日常生活のできる高齢者(原則65歳以上)	高齢者の生きがいづくりや健康管理・増進につながる各種活動支援
	健康管理・増進活動	健康管理・増進活動	組合員・地域住民(およびその家族)	(財)福島県農協共済福祉事業団による健康増進活動(検診・講話等)実施支援(日帰り・1泊2日コース)
	交通事故対策活動(福島県交通事故撲滅キャンペーン・10アクション)	JAグループ統一交通安全キャンペーン	組合員・地域住民	交通安全思想の啓発を通じて事故のない安全な明るい地域社会をつくるため、街頭活動等実施
		交通安全教室開催支援	園児・小中学生、高齢者	各幼稚園・小中学校、老人会等が開催する交通安全教室の開催支援(機材貸与・資料提供)
		安全運転支援装置「安全くん」の設置支援	高齢運転者(65歳以上)	高齢運転者に対する交通事故対策(交通安全協会へ寄贈)
		交通安全川柳コンクール、高校生交通安全CMコンテスト	地域住民、県内高校生	作品応募やメディア放送を通じて、県民の交通安全意識を喚起(地元ラジオ、TV局と連携)
交通安全宣言(署名活動)	JA・連合会役員	交通事故のない安全で安心して暮らせる地域づくりを実現するために、JA・連合会役員が率先して「宣言書」に署名(福島県警へ提出)		
茨城	文化・スポーツ活動	JA共済CUP学年別少年サッカー大会	小学生	サッカー大会の実施(茨城県サッカー協会と共催)
	交通事故対策活動	交通安全帽子の配布 交通安全宣言書(署名活動)	小学校新入児童等 地域住民とJA、連合会役員	交通安全帽子の寄贈 交通事故防止を訴える秋の全国交通安全運動に呼応して、交通安全宣言書を県下JA、関係団体をととして署名を集める
栃木	交通事故対策活動	カーブミラー設置		組合員を交通事故から守り、交通事故の未然防止を目的に市町村に寄贈
		交通安全に対するPR活動		交通安全に対する意識の向上を図るために、交通安全運動期間にあわせ、新聞広告を行う
		交通安全紙芝居の寄贈	幼稚園児	幼稚園児の交通事故未然防止のために、交通安全紙芝居を寄贈する
文化・スポーツ活動	JA共済カップミニバスケットボール大会(協賛)	小学生	スポーツを通じて心と体の育成を図るとともに、JA共済をより広く知ってもらうよう認知度の向上を図る	
	郡市町対抗駅伝競走大会(協賛)		スポーツを通じて心と体の育成を図るとともに、JA共済をより広く知ってもらうよう認知度の向上を図る	
群馬	文化・スポーツ活動	JA共済カップミニバスケットボール大会(特別協賛)	小学生	スポーツを通じて心と体の育成を図るとともに、JA共済をより広く知ってもらうよう認知度の向上を図る
	交通事故対策活動	新入学児童への交通安全資料の配布	新入学児童	交通事故の未然防止・交通安全思想の普及・徹底を図るため、交通安全ランドセルカバー・腕章・手提げ袋を配布
		交通安全教室	組合員・幼稚園・小、中学生児童	(社)群馬県農協対協と連携し、所轄警察署および交通安全協会に開催を依頼
埼玉	交通事故対策活動	交通安全チャリティ募金活動	地域住民	交通安全に伴う意識の向上を図ることを目的とし交通安全サマーフェスティバルを開催し、交通安全募金をあわせて実施

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
千葉	健康管理・増進活動	人間ドック 動脈硬化症ドック助成	長期共済5,000万円以上の加入世帯で35歳以上の者	生活習慣病の予防早期発見に努めるため、厚生連で実施する1日コースに対し助成
		集団健診活動実施助成		厚生連が斡旋した施設で実施。健康管理活動の健全な発展に資するために交付
		健康管理集会開催助成		健康管理に対する認識を高めるため、医師等による講演会または一般健康管理に関する集会を開催
	交通事故対策活動	JA共済交通遺児募金	18歳未満の交通遺児となった者(または世帯)	9月21日から10月20日まで交通遺児育英募金活動を実施。最終日には県下主要JR駅構内において、JA・千葉県等協力団体と街頭募金を実施
交通安全運動			①千葉県・千葉県警察本部等と連携を図り「春・秋全国一斉交通安全運動」「夏・冬交通安全運動」「JA共済全国一斉交通安全運動」へ参加 ②千葉県が主催する「黄色いリボン」貼付運動に(交通事故防止を願うことを目的)参加	
こども自転車大会		小学生	交通安全こども自転車千葉県大会を後援	
東京	健康管理・増進活動	健康診断実施		厚生連の定めた方法により健康診断を実施
神奈川	健康管理・増進活動	健康管理活動	組合員および共済契約者	生活習慣病と各種疾患の原因を発見するため、「人間ドック」「生活習慣病検診」を厚生連と連携して実施
		保養健診活動	組合員および共済契約者ならびにその家族	健康診断および集団保養の機会を提供し、福祉活動の向上に寄与
		保養施設利用	組合員および共済契約者ならびにその家族	「あしがら荘」(あしがら健康センター)を利用した健康増進活動を実施
交通事故対策活動	交通安全啓発活動	地域住民	県・県警へ交通安全対策啓発資料を寄贈	
文化・スポーツ活動	小学生バレーボール大会(協賛)	小学生	次世代層および地域住民とのつながりの充実・強化ならびにJA共済のイメージアップを図ることに より、JAの推進活動を支援する	
	第50回「JA共済」小・中・高校生書道コンクール	小学生・中学生・高校生	相互扶助・思いやりの精神を伝えていくとともに児童・生徒の書写教育に貢献することを目的として実施	
山梨	交通事故対策活動	交通安全教室	組合管内の保育園・幼稚園および小学校等	「交通安全教室」を開催
		新入学児童交通安全キャンペーン	新入学児童	県下の新入学児童を対象に交通安全下敷きを配布
		春の全国交通安全週間キャンペーン	歩行者・運転者	県に交通安全啓発用「花の種」を寄贈。駅前にて街頭キャンペーンを展開し交通安全を呼びかける(市・警察・テレビ局との協賛)
長野	交通事故対策活動	交通安全教室等	組合員およびその家族	交通事故の防止および交通安全思想の啓発を図るためのJA共済交通安全教室等の開催を支援
新潟	健康管理・増進活動	健康教室	組合員で40歳以上の者	健康教室を通じて健康診断・食生活指導を実施
		健康管理・増進活動助成		JAが実施する「人間ドック、脳ドック、集団検診、健康教室、健康・介護教室、軽スポーツ」への助成

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
富山	交通事故対策活動	カーブミラー設置		組合員を交通事故から守り、交通事故の未然防止を目的に市町村に寄贈
		新入学児童交通安全キャンペーン	新入学児童	県下の新入学児童を対象に交通安全ファイルを配付
	健康管理・増進活動	健康管理活動	共済契約者およびその家族	健康を守り疾病の予防と早期発見に寄与するため、JAが実施する人間ドックに対し助成
石川	健康管理・増進活動	いきいき健康増進活動	共済契約者およびその家族で60歳以上の者	高齢期の健康管理について認識を深めるため、「ホテル翠湖」にて健康教室・交通安全教室・軽スポーツ・体験農園等を実施
	交通事故対策活動	交通遺児援助		健全な育成を願い援助活動を実施
	環境保全活動	クリーンビーチいしかわ	県本部職員	海岸清掃活動に参加
福井	健康管理・増進活動	ふれあい健康教室	組合員および地域住民	健康管理を促進するため、1泊2日で開催
		人間ドック経費助成	J A組合長より申請のあった者	厚生連の定める要領にて「人間ドック」を受診
岐阜	交通事故対策活動	JA共済交通安全チャリティー募金		交通遺児支援募金運動を実施
		こども新聞(岐阜新聞)への交通安全広告掲載		全国秋の交通安全運動にあわせ、新聞記事によりJA共済の交通安全活動を幅広く告知し、交通安全を呼びかける
静岡	健康管理・増進活動	人間ドック	生命系長期共済5,000万円以上の加入者	共済加入者の健康管理のため、厚生連が運営する「健康管理センター」等にて人間ドックを実施したJAに助成する
	交通事故対策活動	カーブミラーの寄贈	静岡県	地域住民の交通安全に寄与する
		交通安全啓発活動	地域住民	交通安全ポスター金賞作品を掲載したエコーはがきを発売するとともに、エコーはがきを活用した啓発活動を実施する
	文化・スポーツ活動	静岡県少年軟式野球大会への特別協賛	県内学童のクラブチーム	少年軟式野球大会を通じて、児童の健全な心身の育成と体力の増進を図る
愛知	健康管理・増進活動	健康管理集団保養	組合員とその家族	健康管理指導および保養活動を「グリーンホテル三ヶ根」を利用し、健康講話、健康相談、血圧測定、骨粗しょう症検査等を実施
	交通事故対策活動	母と子の交通安全教室	保育園児、幼稚園児およびその保護者と子供会	交通安全教室を開催
三重	交通事故対策活動	交通安全啓発活動	地域住民	県警等公共団体への交通安全対策用品の寄贈
	文化・スポーツ活動	JA共済カップ三重県少年サッカー大会(U-11)	小学校5年生以下	県内のサッカー競技普及と、次世代を担う少年達がサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして想像力豊かで健全な心身の発育を図る
		三重県家庭婦人バレーボール大会	地域住民	県内の家庭婦人バレーボールチームが参加する大会に協賛
滋賀	交通事故対策活動	交通安全運動	地域住民	春と秋の交通安全運動にて交通安全ノベルティーの配付およびラジオにて交通安全CMを放送
		交通安全運動	地域住民	県内三大花火大会にて交通安全標語入りうちわの配布およびラジオにて交通安全CMを放送

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
京都	健康管理・増進活動	高齢者介護技術研修会	JA女性部員等	寝たきり老人等の介護知識、技術習得のための講義および実技の半日研修
	記念品贈呈活動	長寿祝記念品の贈呈	組合員とその家族で米寿および白寿を迎える者	「敬老の日」に長寿のお祝いメッセージと記念品を贈呈
	文化・スポーツ活動	JA共済カップ京都ジュニアサッカー選手権大会への協賛	京都府サッカースポーツ少年団連盟登録チームの所属者(小学生5年生以下)	各支部予選を勝ち抜いたチーム 京都ジュニアサッカー選手権大会ベスト8進出チーム他
JA共済カップ京都招待少年サッカー大会への協賛				
大阪	健康管理・増進活動	生活習慣病巡回健康診断	組合員・生命共済契約関係者	検診専門機関による外部委託体制の巡回健康診断を実施し、健康管理および疾病の早期発見・早期治療に寄与
		生活習慣病検診の事後保健指導	有所見者	保健指導
		人間ドックによる健康診断	組合員・生命共済契約関係者	巡回健康診断の補完として人間ドックを実施
	交通事故対策活動	交通安全キャンペーン		交通安全運動期間にスローガンを使用し、交通安全意識の啓発と交通事故防止の徹底を図るため、総務省・大阪府交通対策協議会・大阪府警察本部が実施する年間キャンペーンに呼応して展開
兵庫	健康管理・増進活動	高齢者介護技術研修会	JA女性会会員・登録ヘルパー等	家庭内における身近な介護技術を習得
		「あさぎり荘」利用割引	組合員	保養施設「あさぎり荘」の幅広い利用を促進
	交通事故対策活動	AEDの寄贈	JA	組合員・地域住民を交通事故から守り、万の際に応急的な救命措置を施すためAEDを寄贈
		交通安全1日イベント		兵庫県警察および交通安全協会とともに交通安全啓発活動を実施
環境保全活動	JA共済ふるさとの森づくり	組合員および地域住民	県内7ヵ所の植樹が終了し、昨年度からNPO団体等への苗木贈呈により、民間または個人による植樹活動を展開し、「森づくり」のさらなる広がりを図る	
	契約者サービス	農協共済物故者慰霊祭		不幸にしてお亡くなりになられた物故者の霊を慰めることを趣旨として実施
奈良	交通事故対策活動	交通安全教室		交通安全教室開催助成
		交通安全傘の寄贈	県内小学校	子どもを交通事故から守る「学童用交通安全傘」の寄贈
		交通安全指導用車両の寄贈	財団法人奈良県交通安全協会、一般社団法人奈良県安全運転管理者協会、奈良県農業協同組合	交通安全を啓発・指導する車両の巡回等を通じて、交通事故の未然防止を図る

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
和歌山	健康管理・増進活動	健康診断(基本健診)	共済契約者および組合員とその家族	疾病の予防と早期発見に寄与するため実施
		がん検診		早期発見・早期治療によりがんの予防
		骨密度測定(骨粗しょう症予防)		骨粗しょう症予防についての理解を広めるため、イベント等で「骨密度測定」を実施
		健康教室	共済契約者およびその家族、地域住民	健康診断後の事後指導および講話、生活習慣病予防教室、健康づくりのための講演を開催
		軽スポーツ活動	JA女性会・助けあい組織等	「クアハウス白浜」を利用し健康増進に取り組む
		「クアハウス白浜」利用割引	組合員	保養施設「クアハウス白浜」の幅広い利用を促進
	交通事故対策活動	横断指導旗の寄贈	県内小学校	登下校時の交通安全を守る「横断指導旗」の寄贈
		交通安全レインコートの寄贈	県内小学校	子どもを交通事故から守る「学童用交通安全レインコート」の寄贈
		交通安全子供自転車大会への後援実施	交通安全協会	JA共済の認知度の向上を図るとともに、子どもに正しい自転車の乗り方を学んでもらうことによる交通安全意識の向上
	文化・スポーツ活動	学童軟式野球大会実施(協賛)		JA・JA共済の認知度の向上を図るとともに、野球を通じた健全な少年の育成
環境保全活動	「JA共済 絆の森」づくり	県本部 全職員	健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりの実現に向け、平成19年度に「JA共済 絆の森」の植樹を行い、植樹後10年間にわたり森林育成活動を実施	
鳥取	健康管理・増進活動	胃集団検診	40歳以上の共済加入者(被共済者)等でJAが適当と認めた者	胃病の早期発見・早期治療を促進する
		婦人集団検診	30歳以上の共済加入者(被共済者)等でJAが適当と認めた者	婦人疾病(子宮ガン、乳ガン、甲状腺ガン)の早期発見・早期治療を促進する
		リスター倶楽部(Aコース)	55歳以上のJA組合員・共済加入者等で、保養生活に耐えられるものでJAが適当と認めた者	2泊3日の集団生活を通じてストレスの解消とレクリエーションを楽しみながら老後の健康管理を促進する
		リスター倶楽部(Bコース)		1泊2日の集団生活を通じて親睦と健康増進を図る
		ミセス倶楽部	JA女性会役員・会員	生活保障設計に関する意識向上と、地域婦人の健康管理活動として軽スポーツの普及を図る
	交通事故対策活動	交通安全教室等	組合員および地域住民	交通事故防止活動につながるイベント、交通安全教室などを実施
		黄色い手帳運動・キャンペーン協賛	共済契約者	交通事故傷害共済付の「黄色い手帳」を配布

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容	
島根	健康管理・増進活動	健康管理活動	組合員・共済契約者およびその家族・地域住民	生活習慣病検診・腹部超音波検診または、巡回人間ドックを実施	
		JA共済ふれあいの集い	組合員・共済契約者およびその家族・地域住民	「ホテル玉泉」宿泊などによる福祉サービス活動を実施	
		JA共済保養施設利用割引	組合員・共済契約者およびその家族・地域住民	「ホテル玉泉」を利用した場合の支援	
	交通事故対策活動	黄色い手帳運動・キャンペーン協賛	新入学児童	交通事故傷害共済付の「黄色い手帳」を配布	
		中学生への夜行反射材の寄贈	各中学校	「夜行反射タスキ」または「サイクルヒット」を寄贈	
		カーブミラーの寄贈	各市町村	各JAを通じてカーブミラーを寄贈	
		交通事故対策等		県本部内設置の「交通事故相談所」にて事故相談を実施	
			交通遺児育英奨学金	交通遺児	奨学金を支給
	文化・スポーツ活動	組織によるボランティア活動と職員の自主的ボランティアへの支援			JAで行う社会的貢献活動の支援に加え、職員の自主的ボランティア活動や組織的貢献活動の促進
		JAカップ学童野球大会			次代を担う学童が野球を通して、健全な心身の育成と正しい社会マナーを身につけることを願うとともに、地域スポーツの発展に貢献することを目的として開催
記念品贈呈活動	集金袋の寄贈	各小学校	各JAを通じて寄贈		
岡山	健康管理・増進活動	健康増進活動助成	共済契約者・被共済者およびその家族	健康維持・増進を図り、事故防止の補完的役割をはたすため「健診助成」を実施	
	交通事故対策活動	交通安全教室	保育園児、幼稚園児およびその保護者等	子どもへの交通安全教育を徹底し、正しい交通ルールとマナーを学ぶ	
	環境保全活動	清掃活動	県本部職員	地元のサッカーチームと協力し、清掃活動を実施	
広島	健康管理・増進活動	体力測定の実施		「握力、垂直飛び、立位体前屈、肺活量、体脂肪率、血圧」を測定し、自己管理・健康管理を図る	
	交通事故対策活動	交通安全教室	幼稚園・保育園の園児、小学生の児童およびその保護者等	交通安全思想の啓発につとめ、交通事故の予防のため開催	
		交通安全に関する支援および資材・機材の作成提供等	各団体	交通安全思想の啓発を関連機関と十分な連携をとりながら必要に応じて提供	
	環境保全活動	飲料水の水質検査		井戸水等の安全を確認するため、(財)広島県環境保健協会に検査を委託し、10項目の検査を実施	
山口	健康管理・増進活動	ふれあい講座	中高年者、JA女性部員	外部講師による講演を実施。いきがいをもち、健康維持管理に対する認識を高めることを目的に開催	
	交通事故対策活動	親と子の交通安全教室	幼稚園・保育園の園児および保護者	山口県警察本部と連携して開催。園児とその保護者とともに正しい交通ルールとマナーを学ぶ	
		ソーシャルクロックの寄贈			JAからの申請により寄贈

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
徳島	健康管理・増進活動	女性のつどい	JA女性部員	外部講師による講演、気功、ガーデニングを実施
	交通事故対策活動	交通事故相談		交通事故の相談に応じ、適正な解決ができるよう公正・親切的な助言を与え、組合員の利便を図る
		交通安全教室	幼稚園児およびその保護者	地域社会における交通安全意識を高め、事故防止につとめるため開催
香川	交通事故対策活動	LEDライトの寄贈	地域住民	高齢者を交通事故から守る
		交通安全指導車両(シートベルトコンビンサー)の寄贈	組合員および地域住民	組合員・地域住民の交通安全思想の普及と交通事故防止および救急救命・人命保護に貢献することを目的に香川県警察協会へ寄贈
		AEDの寄贈	県下の特別養護老人ホーム・介護老人保健施設	組合員・地域住民の交通安全思想の普及と交通事故防止および救急救命・人命保護に貢献することを目的に香川県庁へ寄贈し、県下の特別養護老人ホーム(79カ所)と介護老人保健施設(51カ所)に配布を行う
	文化・スポーツ活動	香川県ジュニアサッカーリーグ戦への特別協賛	小学生	子どもの心身の健全な育成を図る
愛媛	交通事故対策活動	JA共済交通遺児育英募金	交通遺児	交通遺児育英募金運動を実施
高知	健康管理・増進活動	健康管理活動	共済契約者およびその家族	健康管理・健康維持増進を目的とし、人間ドックを受診
福岡	健康管理・増進活動	大腸がん検診	組合員ならびにその家族および加入者	各種疾病の予防対策として、早期発見・早期治療を促進
		骨粗しょう症検診		
		腹部超音波検診		
	介護研修会		介護技術の習得を支援	
交通事故対策活動	交通安全教室	幼稚園児およびその保護者・老人を対象	交通事故の防止および交通安全思想の啓発を図る	
文化・スポーツ活動	第45回「JA共済」小・中学生作文コンクール	小学生・中学生	次世代を担う後継者の健全な育成と地域社会の発展を目的に、児童・生徒の創造力を豊かにし、情操教育の一助とする	
佐賀	健康管理・増進活動	ことぶき会実施 女性学級実施	組合員およびその家族の高齢者	「ホテル春慶屋」にて、心身の健康維持・増進のため、体力テスト・レクリエーション等を実施
	交通事故対策活動	交通安全街頭呼びかけ	地域住民	交通安全県民運動に応じた街頭での交通安全呼びかけ
長崎	交通事故対策活動	電飾看板設置		交通事故防止と交通安全意識の高揚を図る
熊本	健康管理・増進活動	健康管理・増進活動助成	組合員・地域住民	厚生連が実施する巡回検診・人間ドックを助成
	交通事故対策活動	交通安全反射リストバンド寄贈	地域住民	夜間の歩行者や自転車の交通事故防止を目的に作成し、熊本県警察本部に寄贈。各警察署を通じて、主に県内の高齢者や小中学生に配付
		エコ充電式懐中電灯寄贈	地域住民	夜間の歩行者や自転車の交通事故防止を目的に作成し、熊本県交通安全協会へ寄贈。交通安全協会を通じて主に夜間・早朝に道路を歩行することの多い高齢者に配布
		熊本城周辺清掃活動	地域住民	地域住民のために清掃活動を実施
	文化・スポーツ活動	少年軟式野球・サッカー大会	小学生	JAの主催大会に対する助成

県本部	大項目	中項目	対象者	目的・内容
大分	健康維持増進活動	健康増進	JA女性部員	JA婦人部を対象に健康増進活動の支援
	交通事故対策活動	新入学児童交通安全キャンペーン協賛	新入学児童	交通事故傷害共済付「黄色い手帳」への協賛
		交通安全資材の寄贈	各団体	交通安全啓発活動の一環として県警を通じ各団体へ交通安全資材を寄贈
		交通安全街頭呼びかけ	地域住民	全国交通安全運動に応じ街頭で安全運転の呼びかけ
文化・スポーツ活動	大分県小学生ドッジボール大会への特別協賛	小学生	次世代を担う子どもの健全な心身の育成を図る	
宮崎	健康管理・増進活動	集団検診等	共済契約者およびその家族	潜在的疾患の早期発見・早期治療を促進するため、各種検診を実施
		「青島サンクマール」宿泊利用助成	共済契約者およびその家族	健康増進等のため宿泊
	交通事故対策活動	交通安全資材の寄贈	各団体	交通安全の為の資材を配り、交通事故の防止を図る
	文化・スポーツ活動	中学校バレーボール選抜大会	中学生	バレーボール大会を実施
環境保全活動	少年サッカー大会	小学生	サッカー大会を実施	
	ソーシャルクロック補改修・点検整備助成		ソーシャルクロックの補改修および点検整備をした場合に助成	
鹿児島	健康管理・増進活動	地域スポーツ活動・次世代向けイベント実施助成	組合員・地域住民	JAが自主的に開催するスポーツ活動および次世代向けイベント開催の支援
	交通事故対策活動	JA共済交通安全教室(母と子・高齢者)	地域の主婦・子ども・高齢者	地域の主婦および子ども、高齢者を対象にJAをはじめ、関係機関と連携し交通安全教室を実施
		交通安全運動街頭キャンペーン		春・秋の全国交通安全運動期間中を中心に、警察署の実施するキャンペーンに対し、チラシ・ノベルティを提供するとともに人的協力をを行い、街頭で安全運転を呼びかける
		いぶすき菜の花マラソン		地域住民をはじめ、参加者の健康維持・増進を図るため、大会に協賛
文化・スポーツ活動	JA共済カップ県レディース秋季卓球大会	鹿児島県卓球連盟に所属している既婚者および30歳以上の女性	卓球連盟と連携し、JA共済連主催の卓球大会を実施	
	鹿児島マスターズ陸上競技選手権	マスターズ・小学生	地域住民の健康維持・増進を図るため、大会に協賛	
沖縄	健康管理・増進活動	検診助成	組合員およびその家族	組合員およびその家族が、沖縄県総合保険協会または県本部が認めた検診機関が実施する一般検診を受診
	文化・スポーツ活動	ポーリング大会	JA女性部員	JA女性部を対象に健康の維持・増進を図る
		沖縄県ジュニアサッカー中央大会	小学生	次世代を担う小学生のスポーツ環境づくりと健全育成を促進